



COMMUNICATIONS RECEIVER

VR-120



安全上のご注意 3

ご使用の前に 5

基本的な操作のしかた 8

メモリーを使う 16

盗聴器発見機能サーチ 21

チャンネルカウンタ 22

ワンタッチメモリー 23

スマートサーチ 24

プライオリティワッチ 25

デュアルレシーブ 26

拡張操作 28

資料 38

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	3
ご使用の前に	5
付属品&オプション	5
受信前の準備	6
アンテナを取り付ける	6
ハンドストラップと ベルトクリップを取り付ける	6
乾電池を入れる	7
基本的な操作のしかた	8
各部の名前と働き	8
ディスプレイの説明	8
信号を受信する	9
受信バンドをあわせる	9
周波数をあわせる	9
受信するモード(電波型式)をあわせる	9
周波数サーチ	10
受信できる全ての周波数をサーチする	10
周波数範囲を指定してサーチする	11
サーチしたくない周波数をスキップする	12
リセットのしかた	13
アンテナの選択	13
世界の放送を受信する	14
簡単操作の受信機として使う (プリセットモード)	15
プリセットモードの呼び出し	15
プリセット周波数を呼び出す	15
メモリーを使う	16
メモリー操作	16
メモリーチャンネルに書き込む	16
メモリーチャンネルを呼び出す	16
メモリーチャンネルの編集	17
メモリーチャンネルの内容を消す	17
メモリーチャンネルに名前をつける	17
メモリースキャン	18
全てのメモリーチャンネルを スキャンする	18
希望のメモリーチャンネルだけを スキャンする	19
プリファレンシャル メモリースキャン(PMS)	19
メモリーバンクスキャン	20

盗聴器発見機能サーチ	21
チャンネルカウンタ	22
ワンタッチメモリー (OTM機能)	23
スマートサーチ	24
プライオリティワッチ	25
デュアルレシーブ	26
拡張操作	28
周波数ステップを変更する	28
受信感度を下げる	28
周波数などが変わらないようにする	28
照明ランプが自動的に 点灯しないようにする	29
乾電池を長く持たせる	29
操作音を鳴らないようにする	29
Sメーターの振れをブザー音にする	30
自動的に電源をOFFにする	30
スロットマシンゲームをする	30
セットモードの項目一覧表	31
セットモードの動作一覧表	32
セットモードの機能別一覧表	36
クローン機能	37
資料	38
故障かな?と思ったら	38
アフターサービスについて	38
オートステップ・オートモード関係表	39
メモリーされている世界放送局の 周波数一覧表	40
プリセットメモリー周波数一覧表	42
キー操作早見表	44
定 格	45
索 引	46

安全上のご注意 (必ずお読みください)

本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

マークの種類と意味



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の種類と意味



本機を安全にお使いになるために、行ってはならない禁止事項です。
たとえば、⑤は分解禁止を示しています。



本機を安全にお使いになるために、必ず守っていただきたい注意事項です。

⚠ 危険



航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では使用しないでください。
電子機器や医療機器に影響を与える場合があります。



車でご使用になる場合は、運転者は走行中に各種の設定操作は絶対に行わないでください。
走行中に運転者が、本機のディスプレイに気を取られたり、操作に迷ったりすると大変危険です。



乾電池から漏れている液などに素手で触れないでください。
皮膚に付着したり、目に入ると化学火傷を起こすおそれがあります。
この場合、直ちに医師の診断を受けてください。



外部アンテナを使用している時に雷が鳴り出したら、早めにPWRスイッチを切り、アンテナケーブルを本機から外してください。
雷によっては、火災や感電・故障の原因になります。

安全上のご注意 (必ずお読みください)

警告



本機は“JIS防滴Ⅱ形相当”の防滴構造になっておりますが、なるべく水のかかる場所での使用や、濡れた手で触らないでください。濡れたときはすぐに乾いた布などで拭いてください。
濡れたまま放置すると、性能や寿命を低下させたり、故障や感電などの原因になります。



分解や改造をしないでください。
ケガ・漏液・感電・火災・故障の原因になります。



使用済みの乾電池を、火の中に入れてください。
破裂して火災や火傷の原因になります。



“煙が出ている”、“変な臭いがする”などの異常状態のまま使用すると、火災や故障の原因になります。
すぐにPWRスイッチを切り、乾電池を抜いてください。
煙や変な臭いなどが出なくなったことを確認の上、お買い上げいただきました販売店またはサービスに修理をご依頼ください。



指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

注意



アンテナを持って、本体を振り回したり投げたりしないでください。
本人や他人に当たり、ケガの原因になります。また、本体の故障や破損の原因にもなります。



人の多い場所では使用しないでください。
アンテナが他人に当たり、ケガの原因になります。



本機を直射日光の当たる場所や熱器具の付近に置かないでください。
変形・変色などの原因になります。



本機を湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
火災や故障の原因になります。



本機をぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、ケガの原因になることがあります。



シンナーやベンジンなどでケースを拭かないでください。
ケースを汚れは中性洗剤を湿した布で軽く拭いて汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。



長期間ご使用にならない場合には、安全のため、PWRスイッチを切るとともに、乾電池を抜いてください。



磁気カードやビデオテープなどは本機に近づけないでください。
キャッシュカードやビデオテープなどの内容が、消去される場合があります。



イヤホンやヘッドホンなどを使用するときは、音量を大きくしないでください。
聴力障害の原因になります。



小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください。
ケガなどの原因になります。



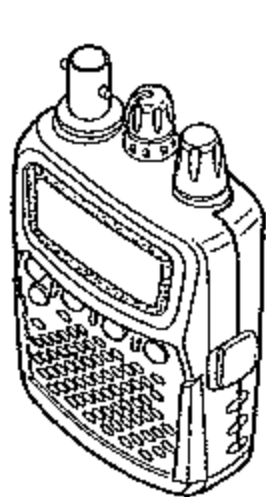
乾電池は、端子にテープなどを貼って絶縁してから破棄してください。



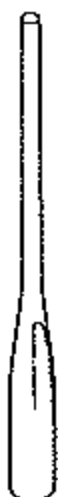
ハンドストラップやベルトクリップの取り付けは確実に行ってください。
間違った取り付けかたは、落下によるケガや本体の破損などの原因になります。

付属品&オプション

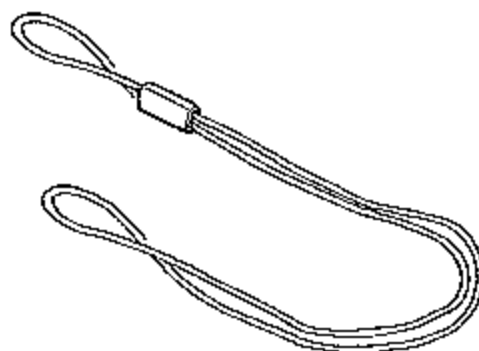
付属品



本体



アンテナ



ハンドストラップ



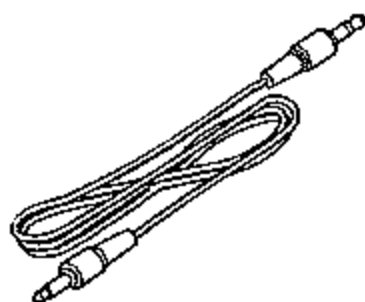
ベルトクリップ

- 取扱説明書 (本書)
- 保証書
- ご愛用者カード

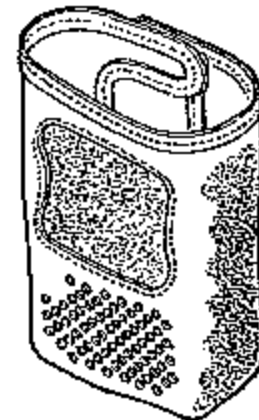
保証書に、お買い上げになりました
販売店名と日付が記入されているこ
とを、ご確認ください。

ご使用の前に

オプション



"CT-35"
クローンケーブル



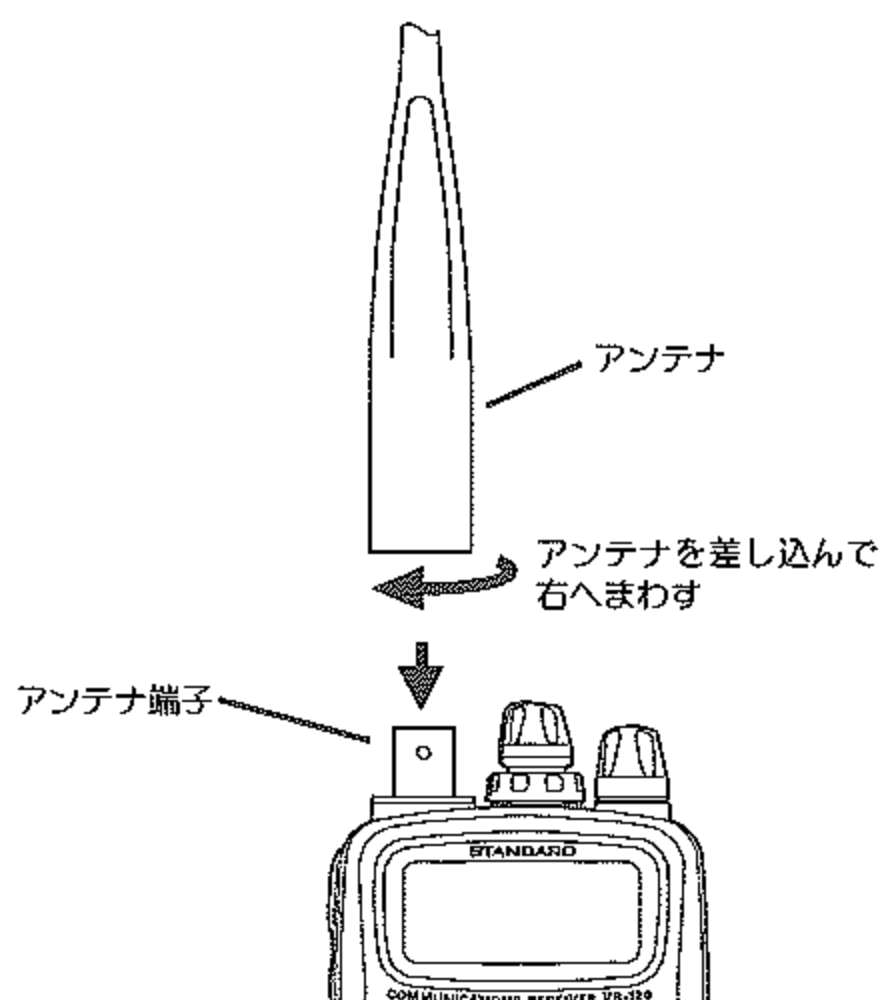
"CSC-76"
ソフトケース

受信前の準備

アンテナを取り付ける

アンテナの下部 (コネクター部) を持って、本体アンテナ端子へ接続します。

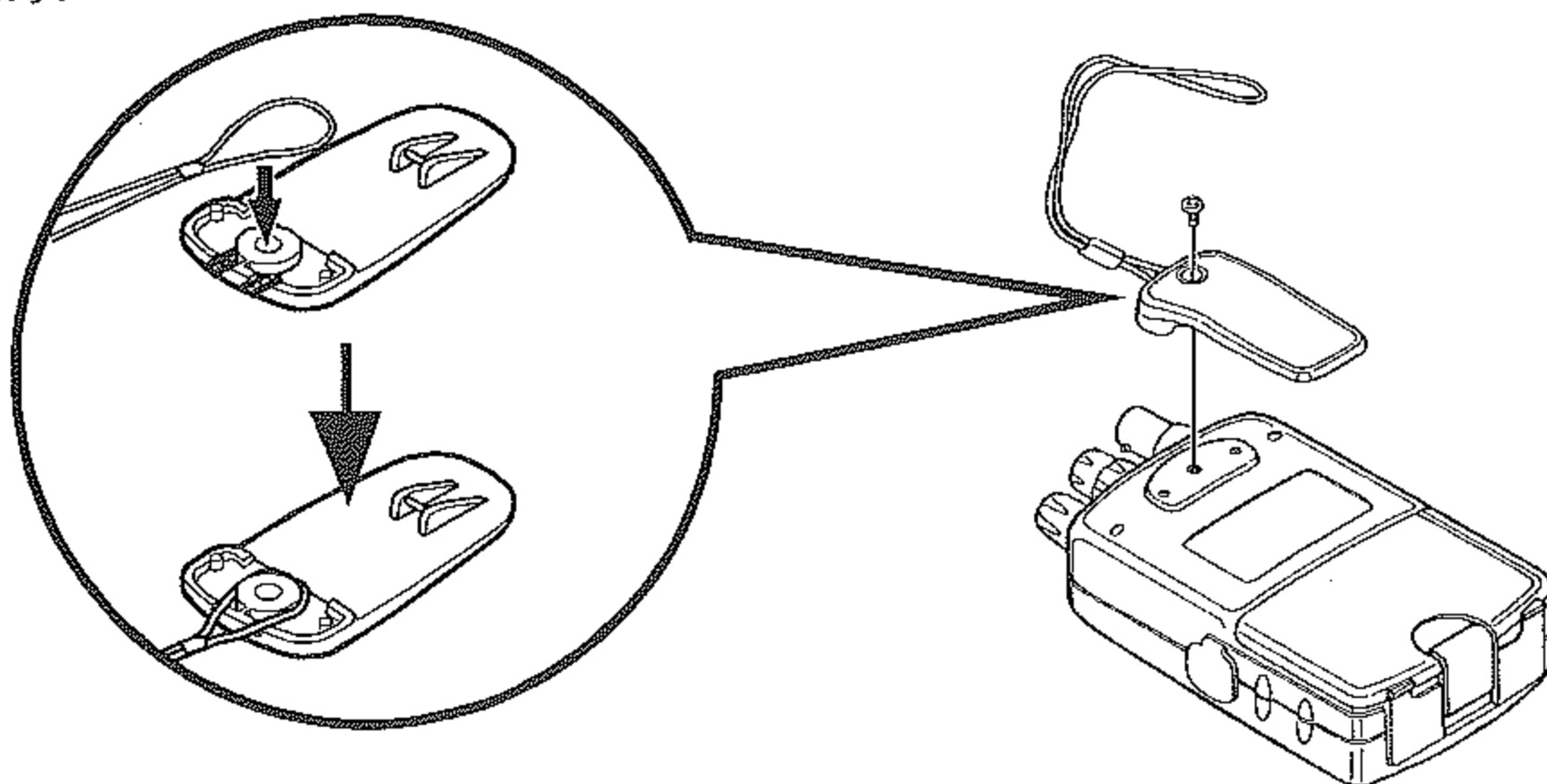
- アンテナの取り付け/取り外し時には、アンテナの上部を持ってまわさないでください。アンテナの内部で断線する場合があります。
- 本機のアンテナ部分が誤って目にささらないようにしてください。
- アンテナを持って、本機を持ち歩くと故障の原因になります。



ハンドストラップとベルトクリップを取り付ける

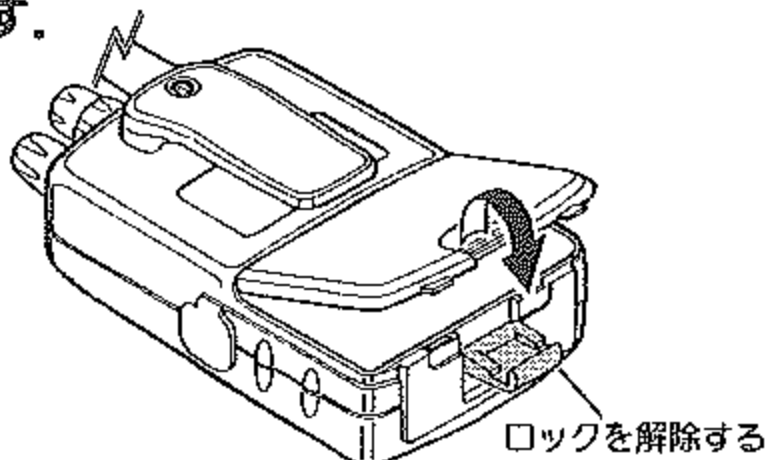
図のようにベルトクリップにハンドストラップを通し、本体に取り付けます。

- ベルトクリップの固定には、必ず付属のビスを使用してください。
他のビスを使用すると、しっかり固定できなかったり、本機の内部に損傷を与える場合があります。

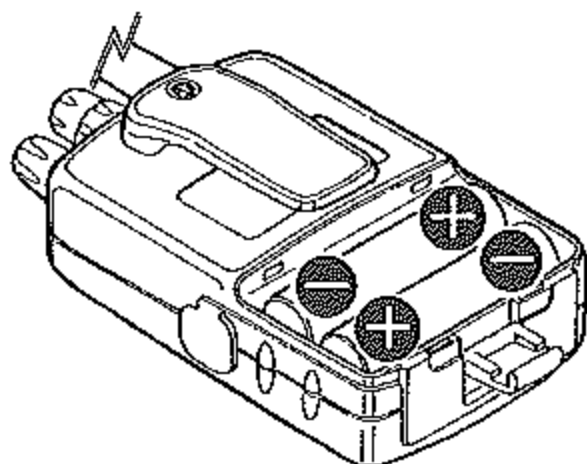


乾電池を入れる

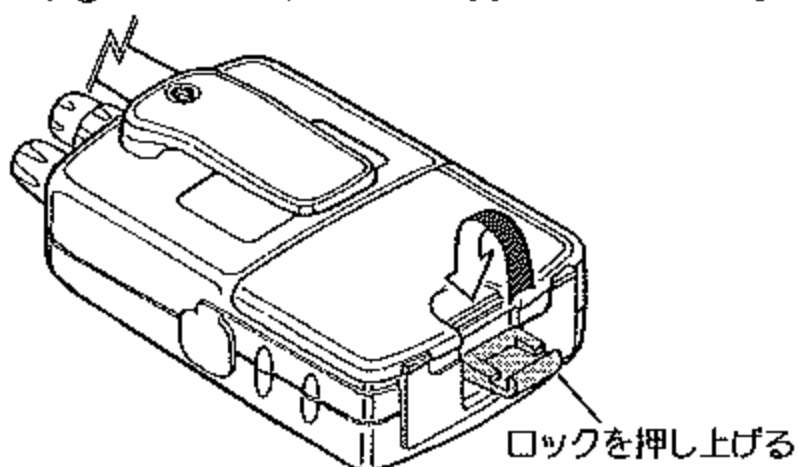
1. ロックを解除し、電池カバーを開けます。



2. 極性を間違えないように注意し、単3形乾電池を入れます。



3. 電池カバーを閉め、ロックを「カチッ」と音がするまで押し上げます。



- 長時間使用しない場合は、乾電池を取り外しておいてください。
- とくとき端子や電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。端子や電極が汚れていると、接触不良になって正しく使用できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。
- 使用済みの乾電池は、火の中などに入れないでください。破裂・やけどなどの原因になります。
- 乾電池を交換するときは、電源を切ってください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用すると、乾電池の寿命を短くすることがあります。

ご使用前に

使用時間の目安

乾電池の残量は“”の“点灯”または“点滅”で知らせます。

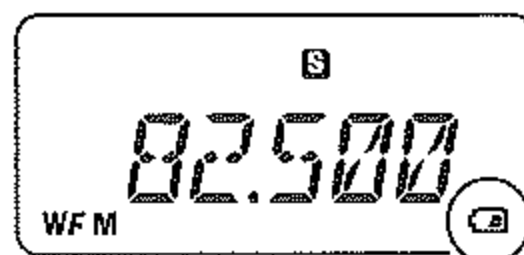
使用できる時間の目安は次のとおりです。

アルカリ乾電池 ➡ 約20時間

マンガン乾電池 ➡ 約8時間

※ 上記の使用時間は目安ですので、実際に使用できる時間は、使い方や周囲の温度などによって異なります。

○ 乾電池の電圧を表示させることができます（セットモード[07. VOLT]）。



点灯：残りわずかです。
点滅：電池を交換してください。

各部の名前と働き

基本的な操作のしかた

アンテナ端子

付属のアンテナを接続します。

VOLツマミ

右にまわすほど、音が大きくなります。

SQLツマミ

信号を受信していないときの「ザー」というノイズが消える位置までまわします。

ディスプレイ

受信する周波数や各種の設定状態などが表示されます。

FUNCスイッチ

ファンクションキー

MONIスイッチ

一時的にスケルチを“OFF”にします。

また、FUNCを押しながら押すと、DIALツマミとキーボードをロックします。

DIALツマミ

周波数を変えたり、メモリーチャンネルを選択します。

SP端子

スピーカーやイヤホンを接続します。

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、電源を“ON”にする前に音量を最低にしてください。

BND▲キー

12バンドの受信バンドを切り替えます。

2秒以上押すと“簡単操作の受信機”になります (p.15)。

MODEキー

モード(電波型式)を変更することができます。

PWRスイッチ

2秒以上押して電源“ON”
再度2秒以上押して電源“OFF”

V/Mキー

VFOモードとメモリーモードが切り替わります。

SCANキー

スキャン(サーチ)をスタートさせます。

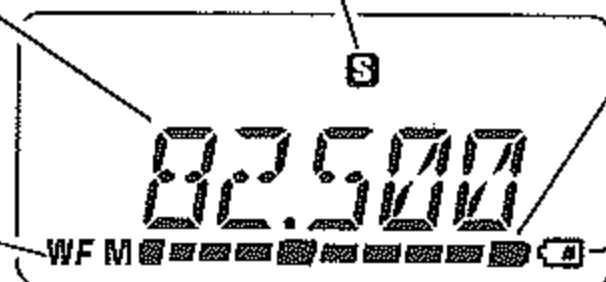
ディスプレイの説明

この周波数を受信します。

セーブ機能が動作しているときに点灯します。

受信している信号の強さを表示します。

現在の受信電波型式を表示します。

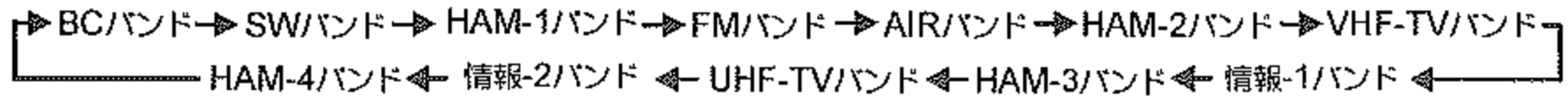


電池が消耗すると点灯または点滅します。

本機は、お買い上げになった時にはオートモード・オートステップが設定されています。受信したい周波数にあわせると、自動的にその周波数に最適なモード(電波型式)とステップ幅に設定されます。

受信バンドをあわせる

[BND▲]を押すたびに、受信バンドが以下のように(アップ方向)に切り替わります。



○ **[FUNC]**を押しながら**[BND▲]**を押すと、反対方向(ダウン方向)に切り替わります。

バンド	初期表示周波数 (MHz)	範囲 (MHz)	バンド	初期表示周波数 (MHz)	範囲 (MHz)
BC	0.5940	0.1000~1.6200	VHF-TV	175.7500	170.0000~336.0000
SW	6.0550	1.6200~51.0000	情報-1	370.0000	336.0000~430.0000
HAM-1	51.0000	51.0000~76.0000	HAM-3	433.0000	430.0000~470.0000
FM	82.5000	76.0000~108.0000	UHF-TV	649.7500	470.0000~770.0000
AIR	128.8000	108.0000~142.0000	情報-2	903.0125	770.0000~915.0000
HAM-2	145.0000	142.0000~170.0000	HAM-4	1295.0000	961.0000~1300.0000

受信バンドを切り替える方法として、**[BND▲]**以外にDIALツマミをまわしていく方法もあります。たとえば、BCバンドを選択しているときにDIALツマミをまわしていくと、周波数が1.6200MHzを超えると自動的にSWバンドへ切り替わります。また、SWバンドへ移った状態で**[BND▲]**を押すと、現在の周波数がSWバンドに記憶されて、HAM-1バンドに切り替わります(BCバンドの周波数は変わりません)。次にSWバンドに切り替えたときはその周波数を受信します。

周波数をあわせる

DIALツマミをまわします

右にまわすと周波数は高くなり、左にまわすと低くなります。

- **[FUNC]**を押しながらDIALツマミをまわすと、1MHz単位で変化します(ファーストステップ機能)。
- DIALツマミで、周波数を自由に設定できる状態を“VFOモード”といいます。
- DIALツマミをまわしたときの、周波数変化量を変更することができます(※ p.28)。
- 本機で受信することのできる周波数範囲は、0.1MHz ~ 1300MHzですが、右表の周波数帯は受信することができません。
- 無線通信の内容を窃用したり、他人に漏らすことは、法律により禁止されています。

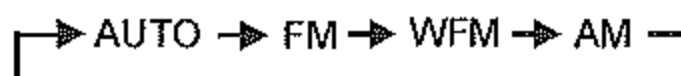
253MHz ~ 256MHz	810MHz ~ 835MHz
262MHz ~ 267MHz	843MHz ~ 846MHz
271MHz ~ 276MHz	860MHz ~ 890MHz
380MHz ~ 383MHz	898MHz ~ 901MHz
412MHz ~ 416MHz	915MHz ~ 961MHz

受信するモード(電波型式)をあわせる

受信している信号にあわせて、モード(電波型式)を変更することができます。

なお、工場出荷時は、自動的に受信バンドに適したモードに切り替わる“AUTO(オートモード)”に設定されています。

[MODE]を押すたびに、モード(電波型式)が以下のように切り替わります。



- “AUTO”以外のモードに設定すると、周波数を変更してもモード(電波型式)は変わらず、設定した受信モードのままになります。
- 他のモードから“AUTO”に設定すると、周波数表示部分に“AUTO”と一瞬表示されます。
- オートモード時の、受信周波数とモード(電波型式)の関係は、オートステップ・オートモード関係表をご覧ください(※ p.39)。

周波数サーチ(1)

受信できる全ての周波数をサーチする

0.1~1300 MHzの範囲にある“信号がある周波数”を自動的に探す（サーチする）ことができます。

1. VFOモードにします（**V/M**を押して切り替えます）。
2. ノイズが聞こえなくなる位置に、SQLツマミをあわせます。
3. **SCAN**を押します。

表示している周波数より上方向（周波数が高くなる方向）にサーチを開始します（0.1~1300 MHzの範囲をサーチします）。

信号を受信するとサーチは一旦停止し、5秒後にサーチを再開します。

○ サーチがバンドエッジ（1300MHz）に達したときには、反対側のバンドエッジ（0.1MHz）に移り、サーチが繰り返されます。

○ 再度**SCAN**を押すと、信号を受信して停止したときのサーチの再開する条件を変えることができます。

○ サーチ中にDIALツマミを1クリックまわすと周波数表示の「。」が点滅し、サーチが一旦停止します。

○ サーチが停止しているときにDIALツマミを右へ1クリックまわすと上方向（周波数が高くなる方向）へ、左へ1クリックまわすと下方向（周波数が低くなる方向）へサーチを再開します。

○ サーチする方向を変更した場合、次にサーチを開始するときには、この“変更した方向”にサーチを開始します。

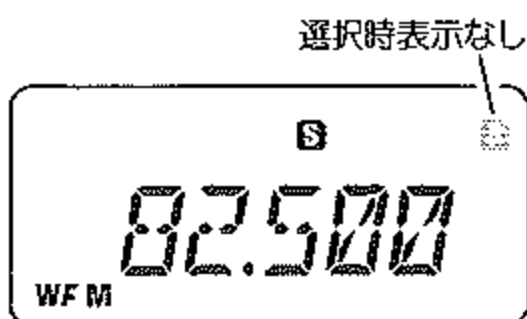
4. **V/M**を押すとサーチは中止します。

サーチまたはスキヤンの再開する条件

信号を受信してサーチまたはスキヤンが停止したときの、“サーチまたはスキヤンの再開する条件”を、以下の3種類から選択することができます。

スキヤン中に**SCAN**を押すたびに、再開する条件を変えることができます。

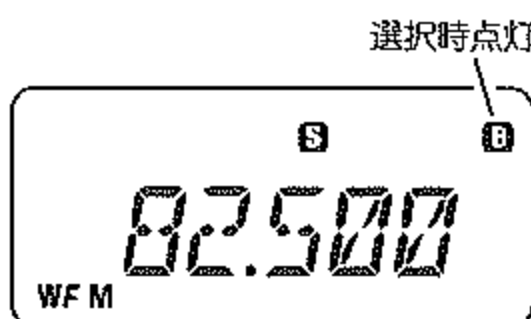
タイムサーチ/タイムスキヤン
(表示なし)



サーチまたはスキヤンが一旦停止したあとに、信号がなくなると2秒後に、また信号があるときは5秒後にサーチまたはスキヤンを再開します(工場出荷時)。

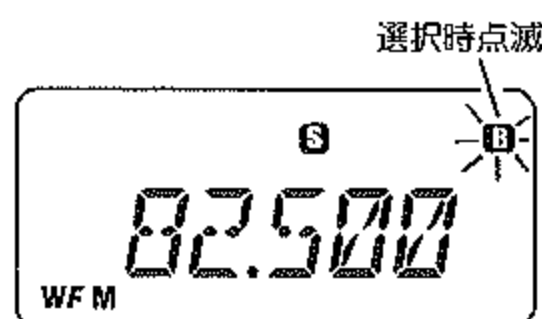
なお、この“停止している時間”はセットモード[5: PAUSE]で変更することができます。

ビジーサーチ/ビジースキヤン
(“B”点灯)



信号がなくなるまで受信し、信号がなくなると約2秒後にサーチまたはスキヤンを再開します。

ホールドサーチ/ホールドスキヤン
(“B”点滅)



サーチまたはスキヤンを再開する場合は、DIALツマミを1クリックまわします。

周波数範囲を指定してサーチする (セットモード11: SEARCH)

希望する周波数範囲をサーチすることができます。

☆ あらかじめセットモード[11: SEARCH]を"LIMIT"に設定しておきます (p.33)。

■ 希望する周波数範囲をサーチする

1. VFOモードにします (V/Mを押して切り替えます)。
 2. 希望する周波数範囲の下限周波数に設定します。
 3. FUNCを押しながらSCANを2秒以上押します。
"SCH A W"と表示されて下限周波数が設定され、VFOモードに戻ります。
 4. 手順2)、手順3)と同じ要領で、上限周波数を設定します。
"SCH B W"と表示されて上限周波数が設定され、VFOモードに戻ります。
- 上限周波数と下限周波数に同じ周波数を設定すると、サーチすることができません。

◎ 以上で周波数範囲が設定されましたので、以下の操作でサーチを開始します。

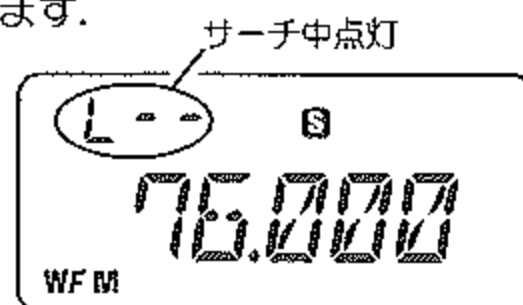
5. ノイズが聞こえなくなる位置に、SQLツマミをあわせませす。

6. SCANを押して、サーチを開始します。

設定した周波数の間をサーチします。

○ サーチの動作や停止したときの再開条件などは、前記ページの「受信できる全ての周波数をサーチする」と同じです。

7. V/Mを押すとサーチは中止します。



■ あらかじめ設定されている周波数範囲を呼び出しサーチする

あらかじめ下表に示す周波数範囲が割り当てられており、これを「サーチバンドメモリー」といいます。この周波数範囲を呼び出してサーチすることができます。

1. ノイズが聞こえなくなる位置に、SQLツマミをあわせませす。
2. SCANを押してサーチを開始させます。
3. 呼び出したいサーチバンドメモリー番号を、FUNCを押しながらDIALツマミをまわして選択します。
選択した周波数範囲で、サーチを開始します。
4. V/Mを押すとサーチは中止します。

番号	周波数範囲(MHz)	参 考
L 00	76.0000 ~ 90.0000	FMラジオ放送
L 01	90.0000 ~ 108.0000	テレビ音声
L 02	108.0000 ~ 142.0000	航空無線
L 03	144.0000 ~ 146.0000	アマチュア無線
L 04	156.0000 ~ 162.0500	船舶無線
L 05	175.7500 ~ 221.7500	テレビ音声 (4~12ch)
L 06	430.0000 ~ 440.0000	アマチュア無線
L 07	0.1000 ~ 1299.9950	
L --	「希望する周波数範囲をサーチする」で設定した周波数範囲を呼び出します。 工場出荷時は、「0.1000MHz ~ 1299.9950MHz」が呼び出されます。	

■ 周波数範囲をサーチバンドメモリーに書き込む

サーチバンドメモリーに書き込まれている周波数範囲を、書き替えることができます。

1. 上記の『希望する周波数範囲をサーチする』ときと同じ要領で周波数範囲を設定し、SCANを押してサーチを開始させます。
2. FUNCを押しながらSCANを2秒以上押します。
3. 書き込みたいサーチバンドメモリー番号を、FUNCを押しながらDIALツマミをまわして選択します。
4. FUNCを押しながらSCANを2秒以上押します。
選択したサーチバンドメモリーに書き込まれます。

基本的な操作のしかた

周波数サーチ(3)

サーチしたくない周波数をスキップする

サーチをしているとき、受信したくない周波数でもサーチが止まることがあります。このような周波数はあらかじめ設定しておくことで、サーチ中にその周波数を受信しないことが可能となります。この設定するメモリーを“スキップメモリー”といい、64チャンネル（チャンネル番号00~63）あります。

☆ あらかじめセットモード[13. MEMORY]を“SKIP”に設定しておきます（p.33）。

■ サーチしたくない周波数を設定する

1. **[SCAN]**を押します。

サーチを開始します。

2. サーチ中、受信したくない周波数で停止したら、

[FUNC]を押しながら**[V/M]**を押します。

“WRITE”と表示され、何も書き込まれていない最も小さい番号のスキップメモリーチャンネルが点滅して表示されます。

○ DIALツマミをまわしてスキップメモリーチャンネル番号を指定することもできます。

3. 再度**[FUNC]**を押しながら**[V/M]**を押します。

スキップメモリーへの書き込みが完了し、サーチが再開します。

○ あらかじめサーチしたくない周波数をスキップメモリーへ書き込んでおくこともできます。この場合、手順1) のかわりにVFOモードで周波数をあわせ、手順2) 、手順3) を行います。

4. **[V/M]**を押します（VFOモードに戻ります）。

スキップメモリー時に点灯

書き込まれる
スキップメモリー番号が点滅



■ スキップメモリーを消す

スキップメモリーは、下記の操作を行うことにより消すことができます。スキップメモリーに設定してあった周波数は、再びサーチするようになります。

1. **[V/M]**を押して、スキップメモリーを呼び出します。

2. DIALツマミをまわして消したいスキップメモリーを選択します。

3. **[FUNC]**を押しながら**[V/M]**を押します。

“CLEAR”が表示されます。

○ **[V/M]**を押すと設定を中止し、手順2) に戻ります。

4. 再度**[FUNC]**を押しながら**[V/M]**を押します。

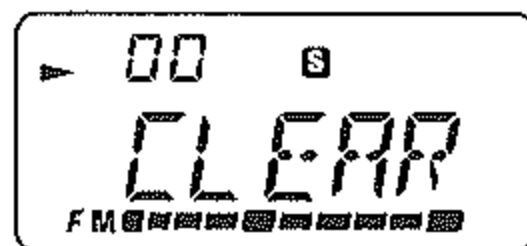
スキップメモリーの内容が消去されます。

○ 続けて他のスキップメモリーを消すには、手順2) から手順4) を繰り返します。

● 消したスキップメモリーは復活させることはできません。

5. **[V/M]**を押すとVFOモードに戻ります。

○ スキップメモリーを一括で全て消す方法もあります（セットモード[17. SKIPCL]）。



アンテナの選択

本機にはAM放送受信用のバーアンテナと、FM放送受信用のイヤホンアンテナを装備しています。人の多い場所や付属のアンテナが邪魔になるときに、切り替えて使用すれば大変便利です。

1. VFOモードにします (V/Mを押して切り替えます)。
2. FUNCを押しながらSCANを押します (セットモードになります)。
3. DIALツマミをまわし、BARアンテナを選択するときにはセットモード[22.AM ANT]を、イヤホンアンテナを選択するときにはセットモード[23.FM ANT]にします。
4. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし、アンテナを選択します。
 - 22.AM ANTを選択した場合は "BAR" にします。
 - 23.FM ANTを選択した場合は "EARPHO" にします。
5. FUNCを押しながらSCANを押します (VFOモードに戻ります)。
 - "バーアンテナ" に切り替えたときは、本機を一番よく受信できる方向に向けてください。
 - AMやFM放送以外のバンドを受信するときは、必ず付属のアンテナを取り付けてください。
 - "イヤホンアンテナ" に切り替えたときは、弱い信号を受信したときにノイズが入ることがあります。

リセットのしかた

設定した内容を、初期値 (工場出荷時の状態) に戻すことができます。
なお、リセットには、システムリセットとオールリセットの2通りがあります。

■ システムリセット

通常のメモリーとスキップメモリーの内容を除く、全ての設定値 (セットモードの設定やプライオリティメモリーなど) を初期値に戻します。

1. V/Mを押してVFOモードにし、電源を"OFF"にします。
2. FUNCとMONIを押しながら電源を"ON"にします ("SYSRST"と表示します)。
 - V/Mを押すとリセットを中止することができます。
3. FUNCを押しながらV/Mを押します。

"RESET"と表示したあとにVFOモードに戻り、システムリセットは終了します。

SYSRST

■ オールリセット

メモリーの内容も含む、全ての設定値を初期値に戻します。

1. V/Mを押してVFOモードにし、電源を"OFF"にします。
2. FUNCとMONIとBND▲を押しながら電源を"ON"にします ("ALLRST"と表示します)。
 - V/Mを押すとリセットを中止することができます。
3. FUNCを押しながらV/Mを押します。

"RESET"と表示したあとにカウントダウンを行い、VFOモードに戻りオールリセットは終了します。

ALLRST



オールリセットを行つと、メモリーした内容は全て消去されます。メモリー内容は必ず紙などに控えておくようにしてください。

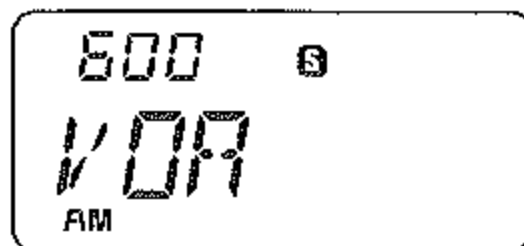
世界の放送を受信する

世界各地の主な放送局を簡単な操作で受信することができます。

世界の放送局の周波数は、あらかじめメモリーバンク6~7（メモリーチャンネル600~763）に登録されています（p.16）。

1. **[V/M]**を押してメモリーモードにします。

まだ何もメモリーチャンネルにメモリーしていないとき（初期値の状態）はメモリーチャンネル600に登録されているVOAの放送局が表示されます。



2. **DIAL**ツマミをまわして受信したい放送局を選択します。

登録されている放送局は下表を参照してください（詳細は40ページをご覧ください）。

- **[FUNC]**を押しながら**DIAL**ツマミをまわすと、各メモリーバンクの一番始めのメモリーチャンネルを呼び出すことができます（例：600→700→800…）。
- **[MODE]**を押すと周波数表示に切り替わり周波数を確認することができます。もう一度**[MODE]**を押すと表示がもとの状態に切り替わります。
- 受信する時間帯や電波の状態が悪いときは、受信できない場合があります。
- 各放送局は下表以外にも受信できる周波数があります。詳しくは市販されている周波数帳などを参考にしてください。

3. **[V/M]**を押すと、メモリーモードにする前の周波数でVFOモードに戻ります。

- **[BND]**を押すと、メモリーチャンネルの周波数のままでVFOモードに戻ります。

表示 [国名]	メモリー チャンネル	周波数 (MHz)	表示 [国名]	メモリー チャンネル	周波数 (MHz)	表示 [国名]	メモリー チャンネル	周波数 (MHz)	表示 [国名]	メモリー チャンネル	周波数 (MHz)
VOA [アメリカ]	600	6.030	ITALY [イタリヤ]	642	6.060	DENMAR [デンマーク]	710	9.590	INDIA [インド]	742	6.045
	601	6.160		643	7.175		711	9.985		743	9.595
	602	9.760		644	9.515		712	13.800		744	11.620
	603	11.930		645	17.710		713	15.735		745	15.020
CANADA [カナダ]	605	5.995	BELGIU [ベルギー]	648	5.985	NORWAY [ノルウェー]	716	7.485	CHINA [中国]	748	7.190
	606	7.235		649	9.925		717	9.590		749	5.250
	607	9.735		650	11.780		718	9.985		750	9.855
	608	11.705		651	13.740		719	13.800		751	11.685
PORTUG [ポルトガル]	616	9.780	NEDERL [オランダ]	653	5.955	SWEDEN [スウェーデン]	721	6.065	KOREA [韓国]	752	5.975
	617	11.960		654	6.020		722	9.490		753	7.275
	618	15.555		655	9.895		723	13.625		754	9.570
	619	21.655		656	11.655		724	17.505		755	13.670
SPAIN [スペイン]	621	7.270	LUXEMB [ルクセンブルグ]	658	6.090	FINLAN [フィンランド]	726	6.120	JAPAN [日本]	756	6.155
	622	9.520		-	-		727	9.630		757	7.200
	623	11.920		-	-		728	11.755		758	9.750
	624	15.585		-	-		729	9.795		759	11.850
BBC [イギリス]	632	6.195	WELLE [ベルギー]	700	3.955	RUSSIA [ロシア]	732	5.940	AUSTRA [オーストラリア]	760	5.995
	633	9.410		701	6.075		733	5.920		761	9.580
	634	12.095		702	9.545		734	7.205		762	9.660
	635	15.310		703	9.735		735	12.030		763	12.080
FRANCE [フランス]	637	6.045	SWISS [スイス]	705	3.985	ISRAEL [イスラエル]	737	9.435		-	-
	638	9.790		706	6.165		738	11.585		-	-
	639	11.670		707	9.885		739	15.615		-	-
	640	15.525		708	15.220		740	17.545		-	-

簡単操作の受信機として使う(プリセットモード)

本機をプリセットモードにすると、あらかじめ工場出荷時にプリセットしてある周波数を、簡単に呼び出すことができます。なお、呼び出した周波数は、DIALツマミで変更することも可能です。

プリセットモードの呼び出し

[BND▲]を2秒以上押します。

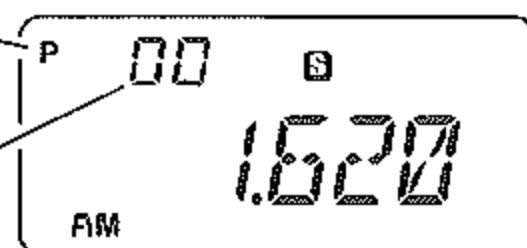
プリセットモードになります。

プリセットモードを解除するには、

再度**[BND▲]**を2秒以上押します。

プリセットモード時に点灯

プリセットメモリー番号



プリセット周波数を呼び出す

[BND▲]を押すたびに、下表に示す周波数が呼び出されます。

プリセットメモリー	周波数(MHz)/モード(電波型式)	参考	プリセットメモリー	周波数(MHz)/モード(電波型式)	参考
P 00	1.6200 AM	交通情報	P 06	145.0000 FM	アマチュア無線
P 01	6.0550 AM	ラジオ短波(第一)	P 07	370.0000 FM	情報バンド
P 02	51.0000 FM	アマチュア無線	P 08	433.0000 FM	アマチュア無線
P 03	82.5000 WFM	FMラジオ	P 09	903.5125 FM	パーソナル無線
P 04	128.8000 AM	航空無線(気象)	P 10	1295.0000 FM	アマチュア無線
P 05	156.8000 FM	海上無線	P 11	TV 1ch WFM	テレビ音声
P 12	DIALをまわすことにより、“あらかじめプリセットされている主要放送局(7大都市周辺の放送局)”を呼び出すことができます。 なお、プリセットしてある7大都市周辺の放送局は、セットモード10により切り替えることができます(初期値:GROUP0(北海道、東北地方))。 1. [FUNC]を押しながら[SCAN]を押し、DIALツマミをまわしてセットモード10を選びます(☞p.33)。 2. [FUNC]を押しながらDIALツマミをまわし、各地方にあったグループを選択します(☞p.42)。 3. [FUNC]を押しながら[SCAN]を押します。				

- **[FUNC]**を押しながら**[BND▲]**を押すと、プリセットメモリーの切り替わり方向が反対になります。
- DIALツマミをまわすと周波数(TV chの場合はチャンネル)を変更することができます。
- **[MODE]**を押すとモード(電波型式)を変更することができます(TV chは除く)。
- 周波数やモード(電波型式)を変更したとき、**[FUNC]**を押しながら**[BND▲]**を2秒以上押し続けることにより、“変更した状態”に書き替えることができます(プリセットメモリーP 12は変更することができません)。
- **[SCAN]**を押すと、自動的に“信号がある周波数(TV chの場合はチャンネル)を探す(サーチ)”ことができます。また、信号を受信してサーチが停止したときに**[V/M]**を押すとサーチを中止し、その周波数(TV chの場合はチャンネル)を継続して受信することができます。なお、セットモード[11.SEARCH]が“LIMIT”になっているときは、上記のサーチ機能は動作しませんので“LIMIT”から“VFO”に切り替えてください。
- 周波数やモード(電波型式)を変更し、他のキーを押さずに電源を“OFF”にした場合、次に電源を“ON”にしたときには、“変更した状態”が呼び出されます。

プリセットモード時の注意点

プリセットモード時には、以下の操作を行うことができません。

- ◎ セットモード“13”以降の操作
- ◎ メモリースキャン
- ◎ スマートサーチ
- ◎ サーチバンドメモリーの書き込み
- ◎ 盗聴器発見機能サーチ
- ◎ フライオリティフツチ
- ◎ メモリー操作
- ◎ チャンネルカウンタ
- ◎ デュアルレシーブ

メモリー操作

本機には、640チャンネル（チャンネル番号000～963）のメモリーがあります。
メモリーを呼び出している状態を“メモリーモード”といいます。

メモリーチャンネルに書き込む

1. VFOモードにします（**V/M**を押すとVFOモードになります）。
2. メモリーする周波数と受信モードを設定します。
3. **FUNC**を押しながら**V/M**を押します。

“MW NAM”と表示され、何も書き込まれていない最も小さい番号のメモリーチャンネルが表示されます。

○ DIALツマミをまわしてメモリーチャンネル番号を指定することができます。

○ **FUNC**を押しながらDIALツマミをまわすと、各メモリーバンクの一番始めのメモリーチャンネルを呼び出すことができます（例：023→100→200…）。また、このときに**MODE**を押すとこのメモリーバンク内の何も書き込まれていない最も小さい番号のメモリーチャンネルを呼び出すことができます。

4. 再度**FUNC**を押しながら**V/M**を押します。

“WRITE”と表示され、メモリーへの書き込みが完了し、VFOモードに戻ります。

○ すでに周波数が書き込まれているメモリーチャンネルへ再度メモリー書き込みを行うと、新しい周波数に書き替えることができます。なお、名前のついているメモリーチャンネルへ書き込みを行った場合には、その名前は消去されてしまいます。

○ 周波数サーチが停止中に、上記の操作でメモリーチャンネルへ書き込むこともできます。

書き込まれる
メモリーチャンネル番号



メモリーチャンネルを呼び出す

1. **V/M**を押してメモリーモードにします。

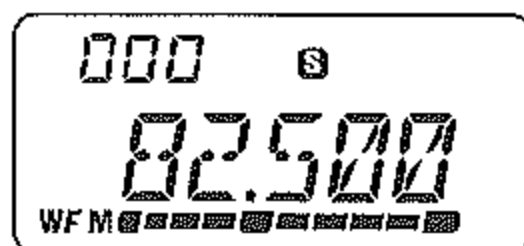
メモリーチャンネル番号が表示されます。

2. DIALツマミをまわして呼び出したいメモリーチャンネル番号を選択します。

○ **FUNC**を押しながらDIALツマミをまわすと、各メモリーバンクに書き込まれている“最も小さい番号の”メモリーチャンネルを呼び出すことができます（例：023→101→200…）。

3. **V/M**を押すと、メモリーモードにする前の周波数でVFOモードに戻ります。

○ **BND**を押すと、メモリーチャンネルの周波数のままでVFOモードに戻ります。



メモリーバンクとは

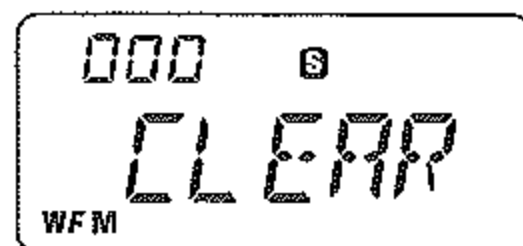
本機では、640チャンネルのメモリーを64チャンネルずつの10グループに分けられており、このグループを“メモリーバンク”といいます。このメモリーバンクは、メモリーチャンネル番号の100の桁が、そのままメモリーバンク番号になります。

なお、あらかじめメモリーチャンネルの600から763には世界短波放送の周波数、メモリーチャンネル800から963は日本の中波、FMラジオ、テレビの周波数がメモリーされています（[p.40~43](#)）。

メモリーバンク	メモリーチャンネル	メモリーバンク	メモリーチャンネル	メモリーバンク	メモリーチャンネル	メモリーバンク	メモリーチャンネル	メモリーバンク	メモリーチャンネル
0	000 ~ 063	2	200 ~ 263	4	400 ~ 463	6	600 ~ 663	8	800 ~ 863
1	100 ~ 163	3	300 ~ 363	5	500 ~ 563	7	700 ~ 763	9	900 ~ 963

メモリーチャンネルの内容を消す

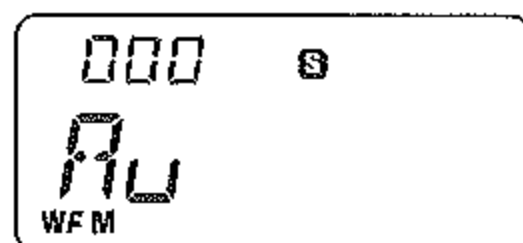
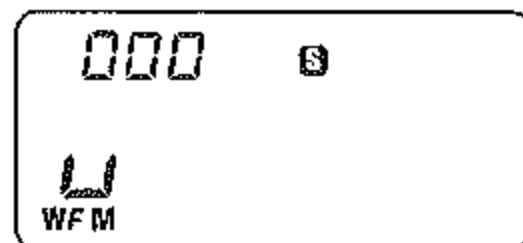
1. メモリーモードにします (V/M) を押して切り替えます。
2. DIALツマミをまわして消したいメモリーチャンネルを選択します。
3. FUNC を押しながら V/M を押します。
"CLEAR"が表示されます。
○ (V/M) を押すと設定を中止し、手順2) に戻ります。
4. 再度 FUNC を押しながら V/M を押します。
メモリーチャンネルの内容が消去されます。
○ 続けて他のメモリーチャンネルの内容を消すには、手順2) から手順4) を繰り返します。
● 消したメモリーチャンネルの内容は復活させることはできません。
5. (V/M) を押します (VFOモードに戻ります)。



メモリーチャンネルに名前をつける

メモリーチャンネルに放送局名などの名前をつけることができます (最大6文字)。

1. 名前をつけたいメモリーチャンネルを呼び出します。
2. FUNC を押しながら SCAN を押します。
3. DIALツマミをまわして文字を選択します。
DIALツマミをまわすと設定できる文字が以下のように切り替わりますので、希望する文字を選択します。
スペース → A...Z → 0...9 → * → + → - → / → < → > → _ → スペース → A...Z...
4. FUNC を押しながら DIALツマミを右にまわして、点滅表示を次 (右側) の桁に移動させます。
○ FUNC を押しながら DIALツマミを左にまわすと前の桁に戻り、修正することができます。
5. 手順3) から手順4) を繰り返し、文字を入力していきます。
6. FUNC を押しながら V/M を押すと、メモリーチャンネルに名前が書き込まれます。
メモリーモードに戻ります。



- (MODE) を押すと名前表示が周波数表示に切り替わり、周波数を確認することができます。もう一度 (MODE) を押すと名前表示に切り替わります。
- 下記の操作をおこなうことにより、“メモリーチャンネルの書き込み”と“名前の設定”を同時に行うことができます。
 - (1) メモリーする周波数と受信モードを設定します。
 - (2) FUNC を押しながら V/M を押して、メモリーの書き込み状態にします。
 - (3) 上記の手順2) から手順6) の操作を行い、メモリーチャンネルに名前をつけます。
 - (4) 再度 FUNC を押しながら V/M を押して、メモリーの書き込みと名前の設定を同時に完了します。



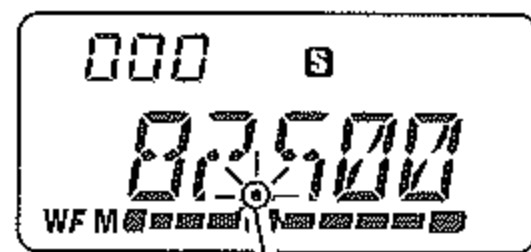
メモリーした内容は、誤操作や静電気または電氣的雑音を受けたときに消失する場合があります。また、故障や修理の際にも消失する場合がありますので、メモリーした内容は必ず紙などに控えておくようにしてください。

メモリースキャン(1)

メモリーしてある周波数を連続的に受信していき、信号のあるメモリーチャンネルを自動的に探しだすことができます。

全てのメモリーチャンネルをスキャンする

1. VFOモードにします (V/Mを押して切り替えます)。
2. FUNCを押しながらSCANを押します (セットモードになります)。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[14.SCAN]を選択します。
4. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし、"ALL"を選択します。
5. FUNCを押しながらSCANを押します (VFOモードに戻ります)。
6. メモリーモードにします (V/Mを押して切り替えます)。
7. ノイズが聞こえなくなる位置に、SQLツマミをあわせ



メモリースキャンが停止中に点滅

8. SCANを押すとスキャンをします。
メモリーチャンネル番号が大きくなる方向にスキャンを開始します。
信号を受信するとスキャンは一旦停止し、5秒後にスキャンを再開します。
 - 再度SCANを押すと、スキャンの再開する条件をビジースキャン/ホールドスキャン/タイムスキャンから選択することができます (p.10)。
 - スキャン中にDIALツマミを1クリックまわすと周波数表示の「.」が点滅し、スキャンが一旦停止します。
 - スキャンが停止しているときにDIALツマミを右方向へ1クリックまわすとメモリーチャンネル番号が大きくなる方向へ、左方向へ1クリックまわすとメモリーチャンネル番号が小さくなる方向へスキャンを再開します。
 - スキャンする方向を変更した場合、次にスキャンを開始するときには、この“変更した方向”にスキャンを開始します。
9. V/Mを押すとスキャンは中止します (メモリーモードに戻ります)。

希望のメモリーチャンネルだけをスキャンする(1)

下記に示す2種類の方法で、希望するメモリーチャンネルだけをスキャンすることができます。

- ・ 指定したメモリーチャンネルをスキャンする“プリファレンシャルメモリスキャン(PMS)”
- ・ 指定したメモリーバンク内のメモリーチャンネルをスキャンする“メモリーバンクスキャン”

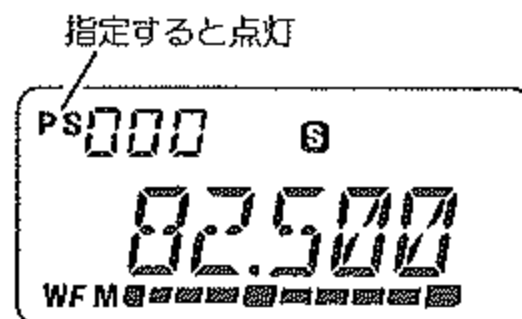
■ プリファレンシャルメモリスキャン (PMS)

指定したメモリーチャンネルだけをスキャンします。

1. メモリーモードにします (V/M)を押して切り替えます)。
2. DIALツマミをまわし、スキャンしたいメモリーチャンネルを選択します。
3. (SCAN)を2秒以上押します。

選択したメモリーチャンネルが指定され、“PS”が表示されます。

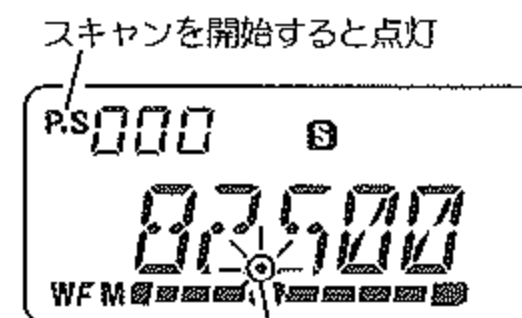
- 再度 (SCAN)を2秒以上押すと、指定を解除することができます。
- 手順2)、手順3)を繰り返し、スキャンしたい他のメモリーチャンネルを指定します。



4. ノイズが聞こえなくなる位置に、SQLツマミをあわせます。
5. (SCAN)を押してメモリスキャンを開始します。
6. (SCAN)を2秒以上押してPMSを開始します。

“P.S”が表示され、指定したメモリーチャンネルだけをスキャンします。

- スキャンの動作や停止したときの再開条件などは、前記ページの「全てのメモリーチャンネルをスキャンする」と同じです。
- 再度 (SCAN)を2秒以上押すと、“P.S”表示が消灯して、全てのメモリーチャンネルをスキャンするようになります。



メモリスキャンが停止中に点滅

6. (V/M)を押すとスキャンは中止します (メモリーモードに戻ります)。

メモリーを使う

メモリースキャン(3)

希望のメモリーチャンネルだけをスキャンする(2)

■メモリーバンクスキャン

指定したメモリーバンク内にあるメモリーチャンネルだけをスキャンします。

1. VFOモードにします (V/M) を押して切り替えます。
2. (FUNC) を押しながら (SCAN) を押します (セットモードになります)。
3. DIAL ツマミをまわし、セットモード[14.SCAN]を選択します。
4. (FUNC) を押しながら DIAL ツマミをまわし、"BANK" を選択します。
5. DIAL ツマミをまわし、セットモード[15.B LINK]を選択します。
6. (FUNC) を押しながら DIAL ツマミをまわし、スキャンしたい"バンク番号"を表示させます。
7. DIAL ツマミをまわし、バンク番号の右下に「。」を表示させます。

DIAL ツマミをまわすごとに、バンク番号の右下に「。」が点灯・消灯を繰り返します。

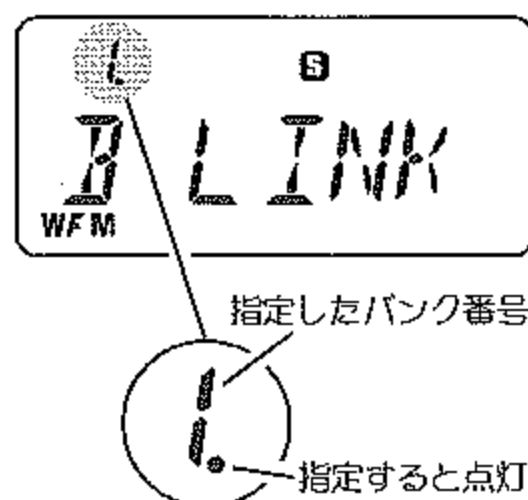
○ 手順6)、手順7) を繰り返すと、複数のメモリーバンクを指定することができます。

8. (FUNC) を押しながら (SCAN) を押します (セットモードになります)。
9. (FUNC) を押しながら (SCAN) を押します (VFOモードに戻ります)。
10. メモリーモードにします (V/M) を押して切り替えます)。
11. (SCAN) を押してメモリーバンクスキャンをします。

「。」が表示され、指定したメモリーバンク内にあるメモリーチャンネルだけをスキャンします。

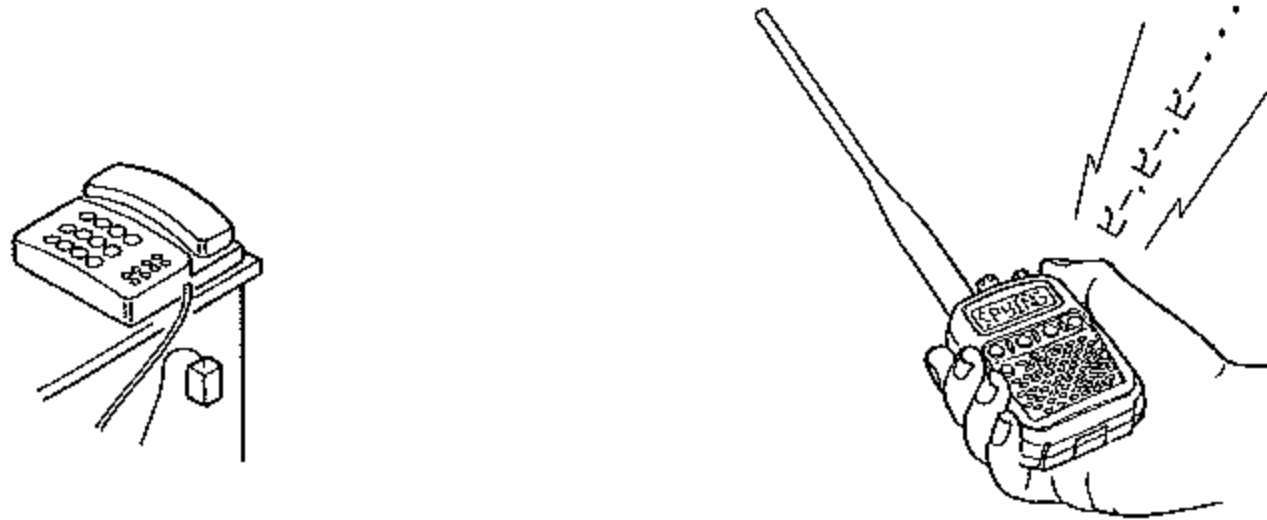
○ スキャンの動作や停止したときの再開条件などは、前記 (p.18) の「全てのメモリーチャンネルをスキャンする」と同じです。

12. (V/M) を押すとスキャンは中止します (メモリーモードに戻ります)。



盗聴器発見機能サーチ

盗聴で使用されている周波数をサーチして、信号のある周波数を自動的に探し出し、もし自宅に盗聴器が設置されている場合には、4段階のブザー音でおおよその設置場所の発見を手助けすることができます。



1. VFOモードにします (V/Mを押して切り替えます)。
2. FUNCを押しながらMODEを2秒以上押します。

盗聴電波の周波数をサーチします。

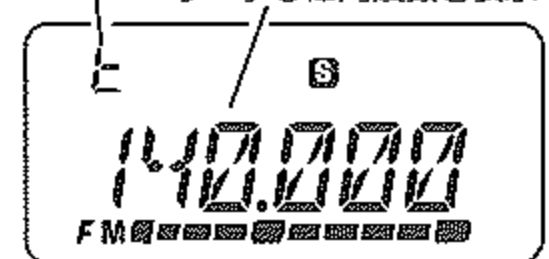
サーチ中はディスプレイに“SCH 2”や“SCH 1”が表示され、一番強い信号を盗聴器発見機能サーチメモリーに書き込み、その周波数を表示してサーチが止まります。

○ 盗聴電波がないときはディスプレイに“--NO--”が表示され、VFOモードに戻ります。

○ 探し出した電波が盗聴電波でないときは、DIALツマミをまわすとその周波数をスキップして、再度サーチを開始します。最大16周波数分スキップでき、VFOモードに戻るとスキップ情報は消去されます。

盗聴器発見機能サーチのモード時に点灯

サーチした周波数を表示

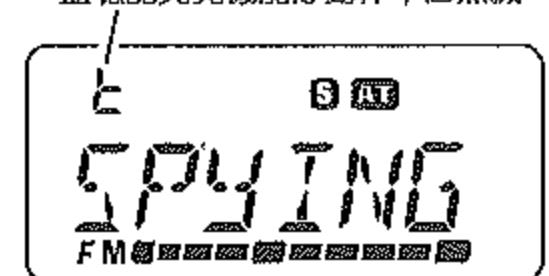


◎ 盗聴電波を探し出すことができたなら、次は盗聴器が設置されている場所を探し出します。

3. FUNCを押しながらMODEを2秒以上押します。

アッテネーター機能 (ATT) とSメーターブザーの機能が自動的にONになります。

盗聴器発見機能が動作中に点滅



4. Sメーターブザーの音が「ピー、ピー、ピー・・・」と高い音で鳴る場所を探し出します。

○ 「プーツ、プーツ、プーツ・・・」と低い音で鳴る場合は、盗聴器が設置されている場所から離れていることを示し、さらに離れると、「プツ、プツ、プツ・・・」と短い音に変わります。

5. 盗聴器に近づくと、Sメーターブザーのピー音が長く鳴ります。

さらに盗聴器に本機を近づけると、本機のスピーカーがハウリングをおこし、盗聴器が設置されている場所を発見することができます。

○ 信号が強すぎるときは、MODEを押すとSメーター感度を下げることができます。

6. V/Mを押すと盗聴器発見機能は解除されます (盗聴周波数の表示に戻ります)。

7. 再度V/Mを押すと盗聴器発見機能サーチは中止します (VFOモードに戻ります)。

○ Sメーター感度を下げているときは、通常の感度に戻ります。

● 盗聴器発見機能サーチメモリーに書き込まれた周波数は消去されます。



この機能は、盗聴器の発見を補助するための機能で、全ての盗聴器を探し出せるわけではありません。

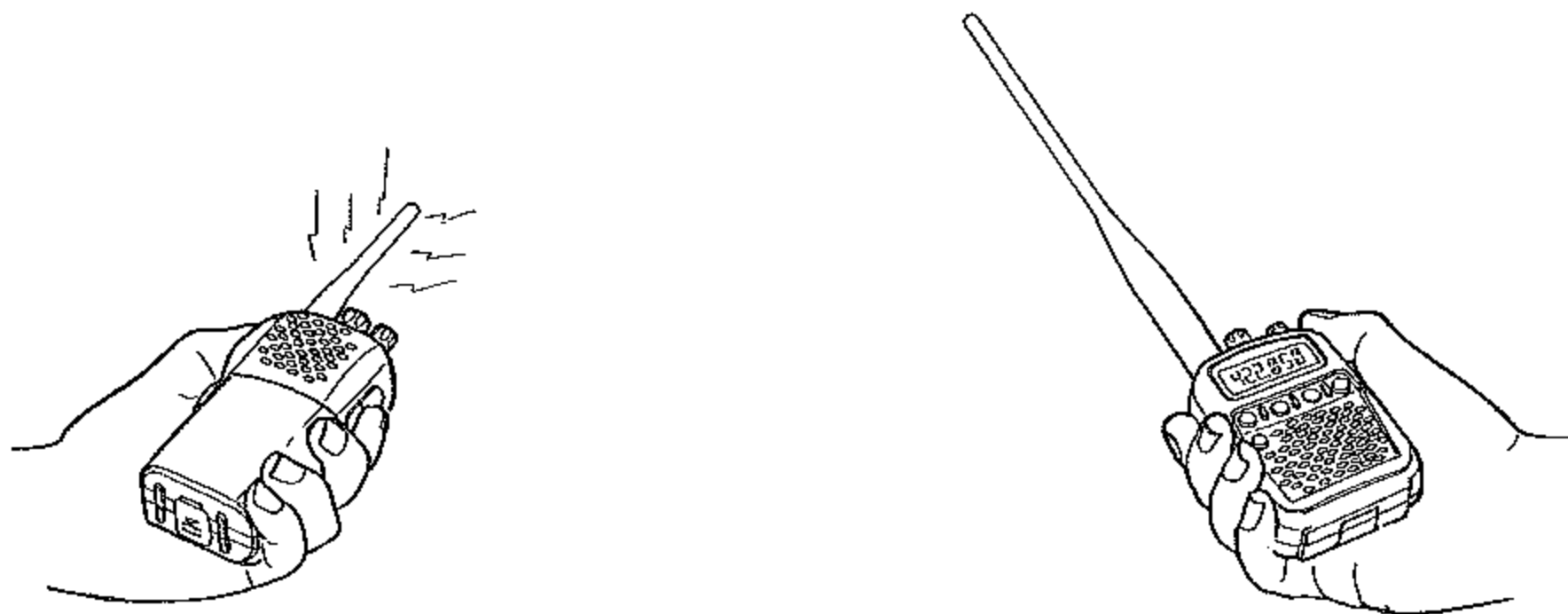
また本機能を使用して生じたトラブルについては、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

チャンネルカウンタ

おおよその周波数しかわからないトランシーバーの周波数を知りたい（たとえば特定小電力のようなチャンネル表示のトランシーバーなど）ときに、本機を送信しているトランシーバーに近づけて周波数を測定することができます。

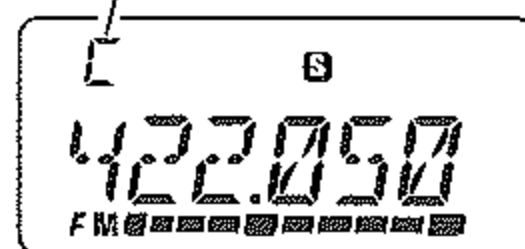
設定した周波数から±50MHzの範囲内を高速でサーチし、最も強い信号を探し出して周波数を表示し、専用のチャンネルカウンタメモリーへ書き込みます。

このチャンネルカウンタはあくまでも簡易的なものであり、測定した周波数は概略値です。



1. VFOモードにします（**V/M**を押して切り替えます）。
2. おおよその周波数にあわせ、送信しているトランシーバーに本機を近づけます。
3. **MODE**を2秒以上押します。
サーチ中、カウントダウン表示（COUNT4・・・COUNT1）を行い、サーチ終了後周波数を表示します。
 - ANT回路は切り離され、至近距離で発射している電波のみ受信します。
 - チャンネルカウンタメモリーの周波数は、通常のメモリーチャンネルやスキップメモリーに書き込むことができます。
 - 信号を探し出せなかったときはディスプレイに“-NO-”が表示され、VFOモードに戻ります。
 - チャンネルカウンタのサーチ幅を変更することができます（下記参照）。
 - トランシーバーの送信出力が大きい場合は、本機が不要な電波で誤動作しないようトランシーバーとの距離を調節してください。
4. **V/M**を押すとチャンネルカウンタは中止します（VFOモードに戻ります）。
 - チャンネルカウンタメモリーに書き込まれた周波数は消去されます。

チャンネルカウンタ
メモリー表示中に点灯



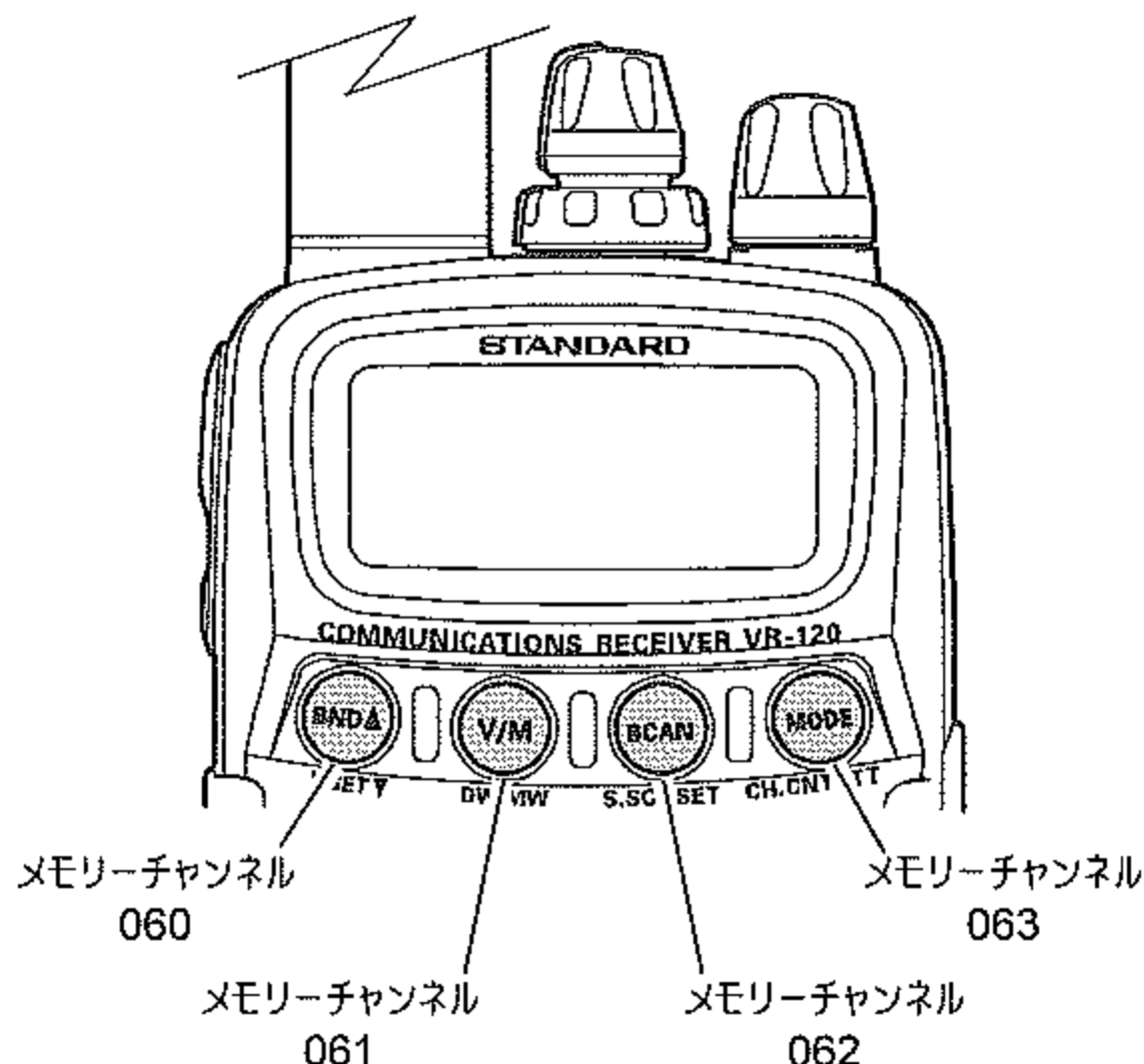
サーチ幅を変更する

1. VFOモードにします（**V/M**を押して切り替えます）。
2. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（セットモードになります）。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[20.CH CNT]を選択します。
4. **FUNC**を押しながらDIALツマミをまわし、希望のサーチ幅を選択します。
 - サーチ幅は、次の中から選ぶことができます。
±5 / ±10 / ±50 / ±100 MHz
 - サーチ幅（範囲）を狭くするほど、探し出す時間は短くなります。
5. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（VFOモードに戻ります）。

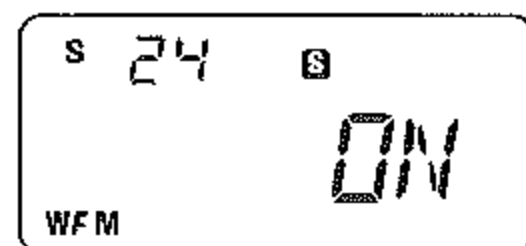
ワンタッチメモリー (OTM機能)

OTM機能を動作させると、あらかじめ指定しておいた4つの周波数をパネル面の **(BND)**, **(V/M)**, **(SCAN)**, **(MODE)** キーを押すだけで呼び出すことができます。たとえば、多チャンネルのメモリーの中から必要とする周波数を探し出すという手間が省け、簡単操作の4チャンネル受令機のような使いかたができます。

なお、OTM機能をONにする前に、希望の周波数をメモリーチャンネルの060, 061, 062, 063へ、メモリーしてください（メモリーのしかた：p.16）。



1. VFOモードにします（**(V/M)**を押して切り替えます）。
2. **(FUNC)**を押しながら**(SCAN)**を押します（セットモードになります）。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[24.0 T M]を選択します。
4. **(FUNC)**を押しながらDIALツマミをまわし、"ON"を選択します。
5. **(FUNC)**を押しながら**(SCAN)**を押します（ワンタッチメモリーの機能になります）。



○ OTM機能を使用しているときはATT機能のみ使用することができます（p.28）。

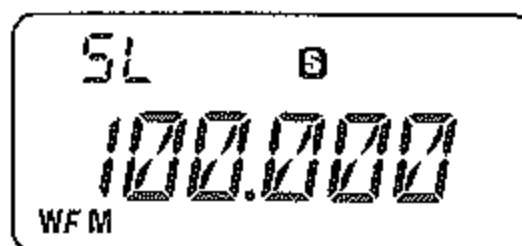
● OTM機能を使用しているときはDIAL操作をすることができません。

OTM機能を解除するには、手順2)からの操作をおこない、手順4)で"OFF"を選択してください。

スマートサーチ

信号のある周波数を自動的に探し出し、通常のメモリーチャンネルとは異なる専用のメモリーチャンネル（スマートメモリー：21チャンネル）へ書き込みます。

1. VFOモードにします（**V/M**を押して切り替えます）。
2. 下限周波数にあわせします。
3. **SCAN**を2秒以上押します。
4. DIALツマミをまわし、“SL”を選択して**FUNC**を押しながら**SCAN**を2秒以上押して設定します。



“LOW W”と表示されて下限周波数が設定されます。

5. 手順2) から手順4) と同じ要領で、スマートサーチを始める周波数（スタート周波数）を“SS”に、上限周波数を“SU”に設定します。

○ スタート周波数が設定されると“ST W”と表示され、上限周波数が設定されると“UP W”と表示されています。

● 以下の設定ではスマートサーチは動作しません。

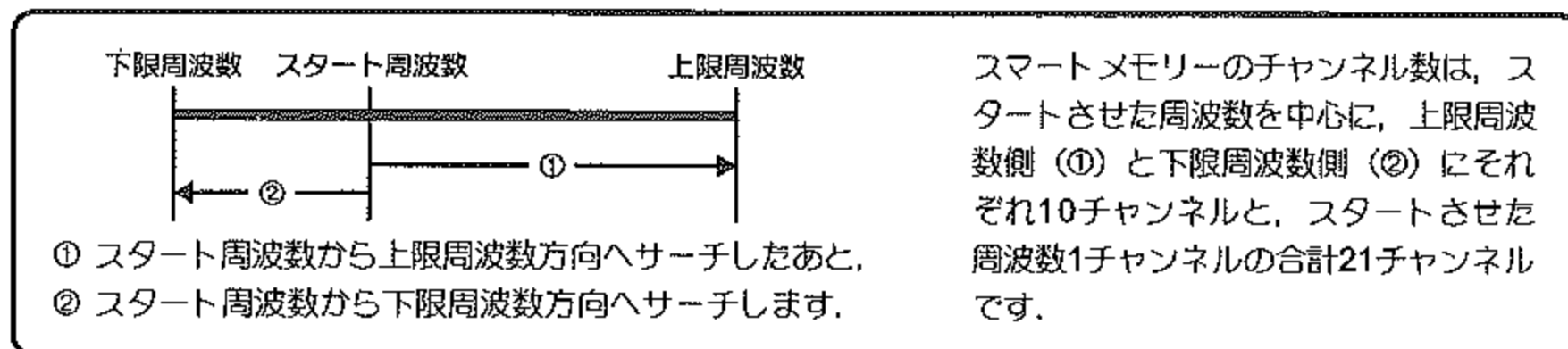
- ・ 下限周波数が上限周波数より高い周波数の場合
- ・ スタート周波数が上限周波数と下限周波数の間に設定されていない場合
- ・ スタート周波数と上限周波数、またはスタート周波数と下限周波数の間隔が100kHz以下の場合

6. 設定後、**SCAN**を2秒以上押します。

○ DIALツマミをまわすと、設定した周波数を確認することができます。

7. 再度**SCAN**を2秒以上押します。

設定した周波数範囲内を1回サーチし、信号のある周波数をスマートメモリーへ書き込んでいきます。



8. サーチ終了後、DIALツマミをまわすとスマートメモリーに書き込まれた周波数を呼び出すことができます。

○ 呼び出したスマートメモリーの周波数は、通常のメモリーチャンネルやスキップメモリーへ書き込むことができます。

○ 全てのスマートメモリーに周波数が書き込まれるまで、設定した周波数範囲内を何回もサーチさせることができます（セットモード [19. S SCH]）。

9. **V/M**を押すと、スマートサーチは中止します（VFOモードに戻ります）。

○ 一旦VFOモードに戻っても、**SCAN**を2秒以上押してから、**FUNC**を押しながらDIALツマミをまわすと、スマートメモリーに書き込まれた周波数を呼び出すことができます。

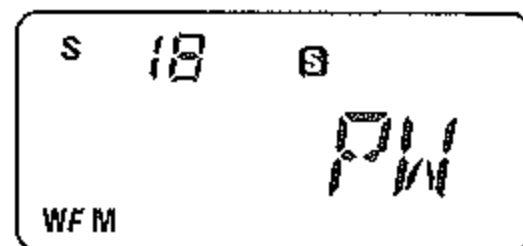
● スマートメモリーに書き込まれた周波数は、電源を“OFF”にしても消去されませんが、以下の操作を行なうと消去されます。

- ・ 再度スマートサーチを開始したとき
- ・ 乾電池を取り外したとき

プライオリティワッチ

VFOモードで受信しているときに、希望する特定の周波数（プライオリティメモリー）を5秒間に一度優先的に受信することができます。

1. VFOモードにします（**V/M**を押して切り替えます）。
2. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（セットモードになります）。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[18.DW/PW]を選択します。
4. **FUNC**を押しながらDIALツマミをまわし、"PW"を選択します。
5. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（VFOモードに戻ります）。
6. VFOモードまたはメモリーモードで、優先的に受信したい周波数を設定します。
7. **FUNC**を押しながら**V/M**を2秒以上押します。
"P W M W"と表示されて周波数がプライオリティメモリーに書き込まれます。
8. メモリーモードのときはVFOモードにします。
V/Mを押すとVFOモードになります。
● メモリーモードからこの機能を動作させることはできません。
9. 常時受信したい周波数を設定します。



◎ 以上で2つの周波数が設定されましたので、以下の操作でプライオリティワッチを開始します。

10. **V/M**を2秒以上押します。

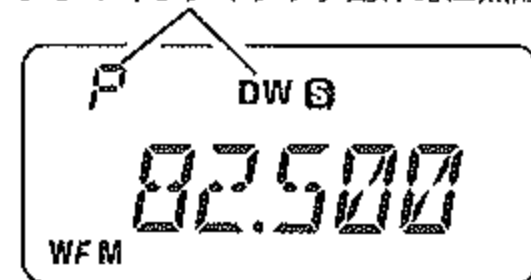
"P"と"DW"が表示され、プライオリティワッチが動作します。

○ VFOモードで設定した周波数を受信しながら、5秒間に一度プライオリティメモリーの周波数を受信します。

○ プライオリティメモリーの周波数で信号を受信すると、優先的にその受信し、信号がなくなるとプライオリティワッチを再開します。

11. **V/M**を押すとプライオリティワッチは中止します（VFOモードに戻ります）。

プライオリティワッチ動作時に点灯

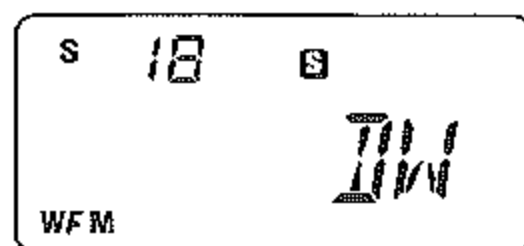


デュアルレシーブ⁽¹⁾

■ 希望する2つの周波数を交互に受信する

受信したい2つの周波数を専用のメモリー（デュアルレシーブメモリー）に書き込むことにより、2つの周波数を交互に受信することができます。

1. VFOモードにします（**V/M**を押して切り替えます）。
2. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（セットモードになります）。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[18.DW/PW]を選択します。
4. **FUNC**を押しながらDIALツマミをまわし、“DW”を選択します。
5. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（VFOモードに戻ります）。
6. VFOモードまたはメモリーモードで、受信したい周波数にあわせませす。
7. **FUNC**を押しながら**V/M**を2秒以上押します。



“DWA W”と表示されてデュアルレシーブする周波数が設定され、もとの状態（VFOモードまたはメモリーモード）に戻ります。

8. 手順6)、手順7)と同じ要領で、受信したいもう1つの周波数を設定します。

“DWB W”と表示されてデュアルレシーブするもう1つの周波数が設定されます。

9. VFOモードにします（**V/M**を押して切り替えます）。

◎ 以上で2つの周波数が設定されましたので、以下の操作でデュアルレシーブを開始します。

10. **V/M**を2秒以上押し、デュアルレシーブを開始します。

“DW”と表示され、2つの周波数を0.5秒ごとに交互に受信します。

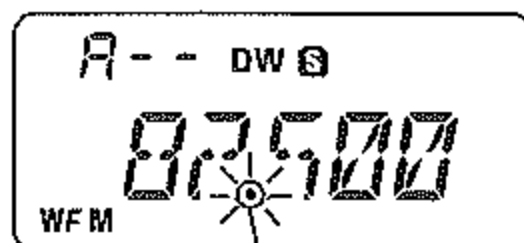
信号を受信するとデュアルレシーブは一旦停止し、5秒後にデュアルレシーブを再開します。

○ **V/M**を2秒以上押すと、デュアルレシーブの再開する条件が変わります（※ p.10）。

○ DIALツマミをまわすとデュアルレシーブが停止して、もう1つの周波数を表示し、その周波数を継続して受信することができます。このとき**BND**を押すと、その周波数のままVFOモードに戻ります。また、DIALツマミをまわすと設定した2つの周波数を交互に呼び出すことができます。

○ DIALツマミをまわして停止させたあとに再度デュアルレシーブをする場合は、一旦VFOモードに戻ってから再度**V/M**を2秒以上押します。

11. **V/M**を押すとデュアルレシーブは中止します（VFOモードに戻ります）。



デュアルレシーブが停止中に点滅

デュアルレシーブ(2)

■ あらかじめ設定されている周波数を呼び出しデュアルレシーブする

あらかじめ下表に示す周波数がデュアルレシーブ専用のメモリーとして割り当てられています。これをデュアルレシーブメモリーといい、この2つの周波数を呼び出してデュアルレシーブを行うことができます。

1. デュアルレシーブを動作させます (V/M を2秒以上押す)。

2. FUNC を押しながらDIALツマミをまわして、呼び出したいデュアルレシーブメモリー番号を選択します。

選択した周波数が呼び出され、デュアルレシーブを開始します。

○ デュアルレシーブの動作や信号を受信して停止したときの再開条件などは、前記ページの「希望する2つの周波数を交互に受信する」ときと同じです。

デュアルレシーブメモリー番号



デュアルレシーブメモリー番号	周波数 (MHz)	デュアルレシーブメモリー番号	周波数 (MHz)
A00 b00	10.0000 AM 100.0000 WFM	A05 b05	128.8000 AM 156.8000 FM
A01 b01	200.0000 WFM 300.0000 AM	A06 b06	145.0000 FM 433.0000 FM
A02 b02	400.0000 FM 500.0000 WFM	A07 b07	433.0000 FM 1295.0000 FM
A03 b03	600.0000 WFM 700.0000 WFM	A-- b--	デュアルレシーブメモリーが書き込まれます。 (初期値はメモリー番号00と同じ周波数が書き込まれています。)
A04 b04	800.0000 FM 900.0000 FM		

3. V/M を押すとデュアルレシーブは中止します (VFOモードに戻ります)。

■ 設定した2つの周波数をデュアルレシーブメモリーに書き込む

デュアルレシーブメモリーに書き込まれている周波数を、書き替えることができます。

1. 前記ページの『希望する2つの周波数を交互に受信する』ときと同じ要領で周波数を設定し、デュアルレシーブを開始させます。

2. FUNC を押しながら V/M を2秒以上押します。

3. FUNC を押しながらDIALツマミをまわして、書き込みたいデュアルレシーブメモリー番号を選択します。

4. FUNC を押しながら V/M を2秒以上押します。

選択したデュアルレシーブメモリーに書き込まれます。

本機をより便利にお使いいただくために、いろいろな機能を備えています。

周波数ステップを変更する (ステップ変更)

◎ DIALツマミをまわしたときの周波数変化量 (周波数ステップ) を変えることができます。

1. VFOモードにします (V/Mを押して切り替えます)。
2. FUNCを押しながらSCANを押します (セットモードになります)。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[00.STEP]を選択します。
4. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし、希望の周波数ステップを選択します。

○ 周波数ステップは、次の中から選ぶことができます。

AUTO (自動切替) / 5 / 6.25 / 9 / 10 / 12.5 / 15 / 20 / 25 / 30 / 50 / 100 kHz

○ 工場出荷時は、自動的に受信周波数に適したステップに切り替わる“AUTO”に設定されています (オートステップ機能)。

オートステップ時の「受信周波数と周波数ステップの関係」は、オートステップ・オートモード関係表をご覧ください (p.39)。



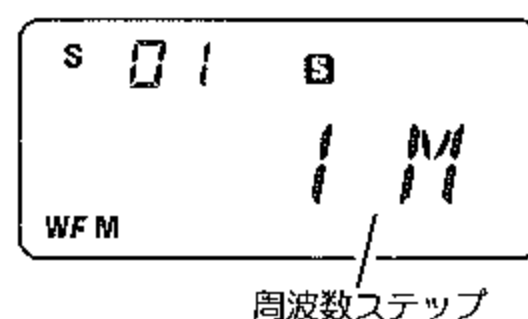
◎ FUNCを押しながらDIALツマミをまわしたときのファーストステップ機能の周波数変化量 (周波数ステップ) を変えることができます。

5. DIALツマミをまわし、セットモード[01.F STEP]を選択すると、ファーストステップ機能の周波数変化量を変えることができます。
6. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし、希望の周波数ステップを選択します。

○ 周波数ステップは、次の中から選ぶことができます。

10 k / 100 k / 1 M / 10 M / 100 MHz

7. FUNCを押しながらSCANを押します (VFOモードに戻ります)。



受信感度を下げる (アッテネーター機能)

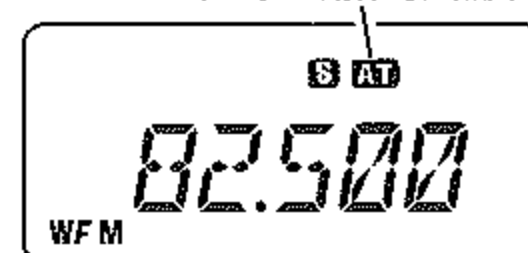
受信信号が強すぎる場合や、近くに強力な信号があり、目的の信号が聞きにくい場合、アッテネーター (ATT) を動作させると聞きやすくなる場合があります。

1. FUNCを押しながらMODEを押します。

アッテネーター (ATT) を解除するには、再度FUNCを押しながらMODEを押します。

○ アッテネーター (ATT) の減衰量は約20dBです。

アッテネーター動作時に点灯



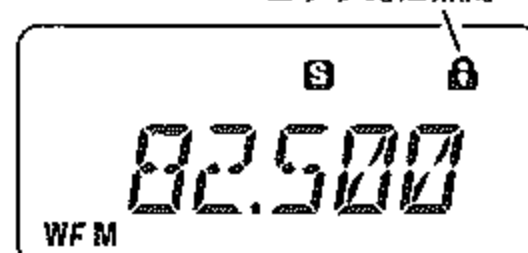
周波数などが変わらないようにする (ロック機能)

誤ってキーやDIALツマミに触れても、周波数などが変わらないようにすることができます。

1. FUNCを押しながらMONIを押します。

ロック機能を解除するには、再度FUNCを押しながらMONIを押します。

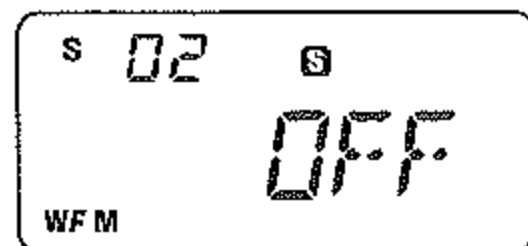
ロック時に点灯



照明ランプが自動的に点灯しないようにする (ランプ機能)

キーとDIALツマミの操作をすると自動的にディスプレイとキーの照明ランプが5秒間だけ点灯しますが、この機能を“OFF”にすることができます。

1. VFOモードにします (VMを押して切り替えます)。
2. FUNCを押しながらSCANを押します (セットモードになります)。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[02.LAMP]を選択します。
4. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし、“OFF”を選択します。
 ○ “AUTO”を選択すると、キー操作で自動的に照明ランプが点灯するようになります。
 ○ “ON”を選択すると、電源がONになっている間照明ランプを点灯し続けます。
5. FUNCを押しながらSCANを押します (VFOモードに戻ります)。



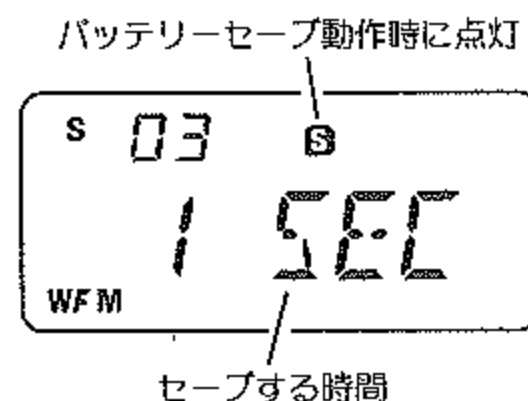
乾電池を長く持たせる (バッテリーセーブ機能)

信号を受信していないときの消費電流を少なくする (セーブする) ことができます。

1. VFOモードにします (VMを押して切り替えます)。
2. FUNCを押しながらSCANを押します (セットモードになります)。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[03.SAVE]を選択します。
4. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし、希望の値に設定します。

以下の値から選択することができます。

選択項目	受信時間	セーブ時間	選択項目	受信時間	セーブ時間
1sec (1:4)	0.25秒	1秒	7sec (1:28)	0.25秒	7秒
3sec (1:12)	0.25秒	3秒	9sec (1:36)	0.25秒	9秒
5sec (1:20)	0.25秒	5秒	OFF	連続的に受信します。	

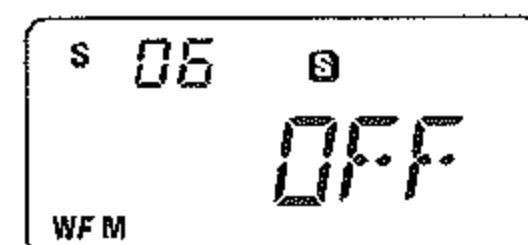


- “OFF”を選択すると、バッテリーセーブ機能が解除されます。
- セーブ時間が長いほど、電池を長く持たせることができます。
5. FUNCを押しながらSCANを押します (VFOモードに戻ります)。

操作音を鳴らないようにする (ビープ音のON/OFF)

キー操作音や、メモリー書き込み時などに鳴る操作確認音などのビープ音を、鳴らないようにすることができます。

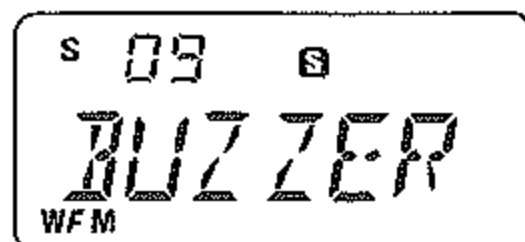
1. VFOモードにします (VMを押して切り替えます)。
2. FUNCを押しながらSCANを押します (セットモードになります)。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[06.BEEP]を選択します。
4. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし、“OFF”を選択します。
 ○ “ON”を選択すると、ビープ音が鳴るようになります。
5. FUNCを押しながらSCANを押します (VFOモードに戻ります)。



Sメーターの振れをブザー音にする (SメーターブザーのON/OFF)

Sメーターの振れの強弱をブザー音の長短音および高低音（弱い信号ほどブザー音は短く低い音で、また強い信号ほどブザー音は長くて高い音で）として、4段階の音であらわすことができます。

1. VFOモードにします（**V/M**を押して切り替えます）。
2. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（セットモードになります）。
● セットモード[06.BEEP]が“ON”になっているか確認してください。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[09.SM BUZ]を選択します。
4. **FUNC**を押しながらDIALツマミをまわし、“BUZZER”を選択します。
5. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（VFOモードに戻ります）。



自動的に電源をOFFにする (オフタイマー機能)

設定した時間が経過すると、自動的に電源を“OFF”にすることができます。

1. VFOモードにします（**V/M**を押して切り替えます）。
2. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（セットモードになります）。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[04.OFFTIM]を選択します。
4. **FUNC**を押しながらDIALツマミをまわし、希望の時間に設定します。

○ 設定時間は、次の中から選ぶことができます。

OFF / 30 min (分) / 60 min (分) / 90 min (分)

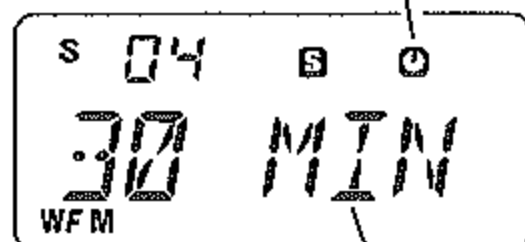
○ “OFF”を選択すると、オフタイマー機能は解除されます。

5. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（VFOモードに戻ります）。

“オフタイマー機能”が動作し、受信信号や操作の有無にかかわらず、設定した時間が経過すると、自動的に電源が“OFF”になります。

○ オフタイマー機能が動作中でも、**PWR**を2秒以上押せば電源を“OFF”にすることができます。
このときオフタイマー機能は自動的に解除されます。

オフタイマー機能動作時に点灯



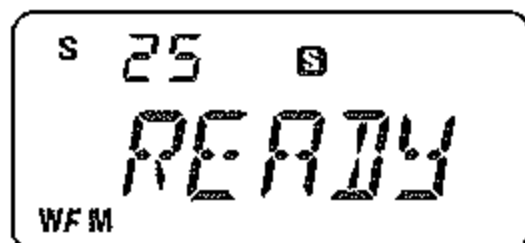
設定時間

スロットマシンゲームをする

1. VFOモードにします（**V/M**を押して切り替えます）。
2. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（セットモードになります）。
3. DIALツマミをまわし、セットモード[25.GAME]を選択します。
4. **FUNC**を押しながらDIALツマミを1クリックまわします（“READY”が表示されます）。
5. **BND**を押すと、ゲームがスタートします。
6. **V/M**, **SCAN**, **MODE**の順番で押して数字を止めます。

再スタートは**BND**を押します。

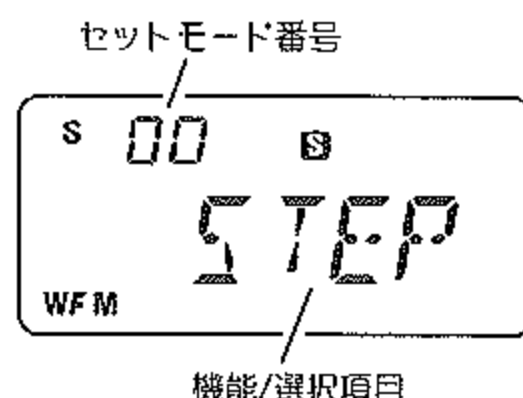
7. ゲームを終了したいときは、DIALツマミを1クリックまわします（セットモードに戻ります）。
8. **FUNC**を押しながら**SCAN**を押します（VFOモードに戻ります）。



セットモードの項目一覧表

セットモードでは、キーを操作したときの音の有無など、各種の設定を行うことができます。

1. **V/M** 押してVFOモードにします。
2. **FUNC** を押しながら **SCAN** を押します。
セットモードになります。
3. DIALツマミをまわして、設定したいセットモード番号
を選択します。
○ **FUNC** を押すと、現在の選択項目を確認することができます。
4. **FUNC** を押しながらDIALツマミをまわし、設定する項目を選択します。
5. **FUNC** を押しながら **SCAN** を押して、セットモードを終了します。



番号	表示	動作説明	初期値
00	STEP	周波数ステップの設定	AUTO
01	F STEP	ファーストステップの切り替え	1 MHz
02	LAMP	照明ランプの設定	AUTO
03	SAVE	バッテリーセーブ時間の切り替え	1 sec (1:4)
04	OFFTIM	オフタイマー機能の設定	OFF
05	PAUSE	スキャンストップ時間の設定	5 sec
06	BEEP	ビープ音の ON/OFF	ON
07	VOLT	現在の電圧表示	-
08	SM SEN	Sメーター感度の選択	NORMAL
09	SM BUZ	Sメーターブザーの ON/OFF	OFF
10	GROUP	プリセットメモリー (P12) の内容選択	GROUP0
11	SEARCH	周波数サーチの動作切り替え	VFO
12	SCHMEM	サーチバンドメモリーの周波数確認	-
13	MEMORY	メモリーモードの切り替え	VFO
14	SCAN	メモリースキャンの動作選択	ALL
15	B LINK	メモリーバンクスキャンのバンク指定	-
16	BANKCL	メモリーバンク内のメモリーチャンネルを一括消去	-
17	SKIPCL	スキップメモリーの一括消去	-
18	DW/PW	デュアルレシーブ/プライオリティワッチの選択	DW
19	S SCH	スマートサーチの動作選択	SINGLE
20	CH CNT	チャンネルカウンタサーチ幅の選択	±50 MHz
21	FLEX S	ステップ周波数の補正	ON
22	AM ANT	AMアンテナの選択	EXT
23	FM ANT	FMアンテナの選択	EXT
24	OTM	ワンタッチメモリーモードの動作選択	OFF
25	GAME	ゲームモードの選択	-

セットモードの動作一覧表(1)

00. STEP : 周波数ステップの設定 [初期値 : AUTO]

選択項目	AUTO	自動的に受信周波数に適したステップに切り替わります。
	5/6.25/9/10/ 12.5/15/20/25/ 30/50/100 kHz	設定したステップ幅で周波数を変更します。

01. F STEP : ファーストステップの切り替え [初期値 : 1 MHz]

選択項目	10 k/100 k/1 M/ 10 M/100 MHz	周波数を合わせるときに、 (FUNC) を押しながらDIALツマミをまわしたときの変化量を選択します。
------	---------------------------------	--

02. LAMP : 照明ランプの設定 [初期値 : AUTO]

選択項目	AUTO	キーを押すと自動的に照明ランプが5秒間点灯します。
	ON	電源がONになっている間、照明ランプを点灯し続けます。
	OFF	キーを押しても照明ランプを点灯しません。

03. SAVE : バッテリーセーブ時間の切り替え [初期値 : 1 sec (1:4)]

選択項目	1 sec (1:4)	250 ms 受信して、1秒間受信セーブを行います。
	3 sec (1:12)	250 ms 受信して、3秒間受信セーブを行います。
	5 sec (1:20)	250 ms 受信して、5秒間受信セーブを行います。
	7 sec (1:28)	250 ms 受信して、7秒間受信セーブを行います。
	9 sec (1:36)	250 ms 受信して、9秒間受信セーブを行います。
	OFF	受信セーブ動作は行いません (連続受信)。

04. OFFTIM : オフタイマー機能の設定 [初期値 : OFF]

選択項目	OFF	オフタイマー機能は動作しません。
	30/60/90 min	設定した時間が経過すると、自動的に電源がOFFになります。

05. PAUSE : スキャンストップ時間の設定 [初期値 : 5 sec]

選択項目	1 sec ~ 12 sec	サーチ/スキャン/デュアルレシーブ中に信号が入感すると、設定した時間だけ一時停止します (1秒単位で設定できます)。
------	----------------	--

06. BEEP : ビープ音のON/OFF [初期値 : ON]

選択項目	ON	キーやスイッチを押したときに、ビープ音が鳴ります。
	OFF	ビープ音が鳴らなくなります。

07. VOLT : 現在の電圧表示 [表示範囲 : 1.9 V ~ 3.5 V]

選択項目	-	(FUNC) を押しながらDIALツマミを1クリックまわすとバッテリーの電圧がディスプレイに表示されます。DIALツマミを1クリックまわすとセットモードに戻ります。
------	---	---

セットモードの動作一覧表(2)

08. SM SEN : Sメーター感度の選択 [初期値 : NORMAL]

選択項目	NORMAL	Sメーター感度を通常の状態にします。
	LOW	Sメーター感度を落とします (FMのときのみ有効)。

09. SM BUZ : SメーターブザーのON/OFF [初期値 : OFF]

選択項目	OFF	Sメーターブザーを使用しません。
	BUZZER	Sメーターの振れをブザー音にします。

10. GROUP : プリセットメモリー (P 12) の内容選択 [初期値 : GROUP0]

選択項目	GROUP0	メモリーチャンネル 800 ~ 831 が呼び出されるようになります。
	GROUP1	メモリーチャンネル 832 ~ 863 が呼び出されるようになります。
	GROUP2	メモリーチャンネル 900 ~ 931 が呼び出されるようになります。
	GROUP3	メモリーチャンネル 932 ~ 963 が呼び出されるようになります。
	GRPEX0	メモリーチャンネル 800 ~ 815 が呼び出されるようになります。
	GRPEX1	メモリーチャンネル 816 ~ 831 が呼び出されるようになります。
	GRPEX2	メモリーチャンネル 832 ~ 847 が呼び出されるようになります。
	GRPEX3	メモリーチャンネル 848 ~ 863 が呼び出されるようになります。
	GRPEX4	メモリーチャンネル 900 ~ 915 が呼び出されるようになります。
	GRPEX5	メモリーチャンネル 916 ~ 931 が呼び出されるようになります。
	GRPEX6	メモリーチャンネル 932 ~ 947 が呼び出されるようになります。
	GRPEX7	メモリーチャンネル 948 ~ 963 が呼び出されるようになります。

11. SEARCH : 周波数サーチの動作切り替え [初期値 : VFO]

選択項目	VFO	現在設定してある VFO 周波数からサーチを開始します。
	LIMIT	“サーチバンドメモリー” にメモリーされている周波数範囲をサーチします。

12. SCHMEM : サーチバンドメモリーの周波数確認

選択項目	-	FUNC を押しながら DIAL ツマミをまわすと、サーチバンドメモリーにメモリーされている周波数範囲を確認することができます。続けて他のセットモードの設定を行うときは、 FUNC を押しながら SCAN を押してください。
------	---	---

13. MEMORY : メモリーモードの切り替え [初期値 : VFO]

選択項目	VFO	VFO メモリーを選択します。
	SKIP	スキップメモリーを選択します。

14. SCAN : メモリースキャンの動作選択 [初期値 : ALL]

選択項目	ALL	全てのメモリーチャンネルをスキャンします。
	BANK	指定した “メモリーバンク” 内のメモリーチャンネルだけをスキャンします。

拡張操作

セットモードの動作一覧表(3)

15. B LINK : メモリーバンクスキャンのバンク指定

選択項目	-	メモリーバンクスキャンを行うバンクを指定します。
1. FUNC を押しながらDIALツマミをまわして、バンク指定したいメモリーバンクを選択します。 2. DIALツマミをまわしてメモリーバンクスキャンを行いたいメモリーバンクに「.」を付けます。 ○さらに1クリックまわすと「.」は消え、バンク指定は解除されます。 3. 他のバンクを指定する場合は、手順1) から手順2) を繰り返します。 4. 続けて他のセットモードの設定を行うときは、FUNC を押しながら SCAN を押してください。		

16. BANKCL : メモリーバンク内のメモリーチャンネルを一括消去

選択項目	-	指定したメモリーバンク内にある全てのメモリーチャンネルを、一度に消去することができます。
1. FUNC を押しながらDIALツマミをまわして消去したいメモリーバンクを選択します。 ディスプレイに“CLEAR”が表示されます。 ○ V/M を押すと設定を中止し、手順1) に戻ります。 2. FUNC を押しながら V/M を押します。 メモリーバンク内のメモリーチャンネルが全て消去されます ● 消去したメモリーバンク内のメモリーチャンネルは復活できません。 3. 他のバンクを一括消去する場合は、手順1) から手順2) を繰り返します。 4. 続けて他のセットモードの設定を行うときは、FUNC を押しながら SCAN を押してください。		

17. SKIPCL : スキップメモリーの一括消去

選択項目	-	全てのスキップメモリーを、一度に消去することができます。
1. FUNC を押しながらDIALツマミを1クリックまわすと、ディスプレイに“CLEAR”が表示されます。 ○ V/M を押すと設定を中止し、手順1) に戻ります。 2. FUNC を押しながら V/M を押します。全てのスキップメモリーが全て消去されます。 ● 消去したスキップメモリーは復活できません。		

18. DW/PW : デュアルレシーブ/プライオリティフッチの選択 [初期値 : DW]

選択項目	DW	デュアルレシーブを選択します。
	PW	プライオリティフッチを選択します。

19. S SCH : スマートサーチの動作選択 [初期値 : SINGLE]

選択項目	SINGLE	1回だけサーチします。
	CONT	スマートメモリーが一杯になるまでサーチを繰り返します。

20. CH CNT : チャンネルカウンタサーチ幅の選択 [初期値 : ± 50 MHz]

選択項目	$\pm 5 / \pm 10 / \pm 50 / \pm 100$ MHz	チャンネルカウンタのサーチ範囲を選択します。
------	---	------------------------

セットモードの動作一覧表(4)

21. FLEX S : ステップ周波数の補正 [初期値 : ON]

選択項目	ON	ステップを変更したとき、モード（電波型式）に適した周波数に補正します。
	OFF	6.25kHz および 12.5kHz 以外のステップでは、補正が解除されます。

22. AM ANT : AM アンテナの選択 [初期値 : EXT]

選択項目	EXT	外部アンテナを使用します。
	BAR	AM放送のバンドを受信すると、自動的に内蔵のバーアンテナに切り替わります。 人の多い場所や付属のアンテナが邪魔になるときに切り替えると大変便利です。 本機を一番よく受信できる方向に向けてください。

23. FM ANT : FM アンテナの選択 [初期値 : EXT]

選択項目	EXT	外部アンテナを使用します。
	EARPHO	イヤホンのコードをアンテナとして使用できます。 人の多い場所や付属のアンテナが邪魔になるときに切り替えると大変便利です。 イヤホンのコードをできるだけ伸ばした状態で受信してください。 ● 弱い信号を受信したときに、ノイズが入ることがあります。

24. OTM : ワンタッチメモリーモードの動作選択 [初期値 : OFF]

選択項目	OFF	ワンタッチメモリーは使用しません。
	ON	(BND▲) : メモリーチャンネル 060, (V/M) : メモリーチャンネル 061 (SCAN) : メモリーチャンネル 062, (MODE) : メモリーチャンネル 063 がワンタッチで呼び出せるメモリーキーになります (ONにする前に、希望の周波数をメモリーチャンネルの060, 061, 062, 063へ、メモリーしてください) 。 ○ OTM機能を使用しているときは、セットモードへの移行とATT機能のON/OFFをすることができます。 ● OTM機能を使用しているときはDIAL操作をすることができません。

25. GAME : ゲームモードの選択

選択項目	-	スロットマシンゲームができます。
------	---	------------------

- (FUNC)** を押しながらDIALツマミを1クリックまわすと、ディスプレイに "READY" が表示されます。
- (BND▲)** を押すとゲームがスタートします。
- (V/M)**, **(SCAN)**, **(MODE)** の順番で押して数字を止めます (再スタートは **(BND▲)** を押します) 。
- ゲームを終了したいときは、DIALツマミを1クリックまわすとセットモードに戻ります。

セットモードの機能別一覧表

サーチ・スキャンに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
スキャンストップ時間の設定	05	PAUSE	1sec~12sec [5sec]
周波数サーチの動作切り替え	11	SEARCH	<u>VFO</u> / LIMIT
メモリスキャンの動作選択	14	SCAN	<u>ALL</u> / BANK
メモリーバンクスキャンのバンク指定	15	B LINK	—
チャンネルカウンタサーチ幅の選択	20	CH CNT	±5 MHz / ±10 MHz / <u>±50 MHz</u> / ±100 MHz

メモリーに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
プリセットメモリー(P 12)の内容選択	10	GROUP	<u>GROUP0</u> / GROUP1 / GROUP2 / GROUP3 / GRPEX0 / GRPEX1 / GRPEX2 / GRPEX3 / GRPEX4 / GRPEX5 / GRPEX6 / GRPEX7
サーチバンドメモリーの周波数確認	12	SCHMEM	—
メモリーモードの切り替え	13	MEMORY	<u>VFO</u> / SKIP
メモリーバンク内のメモリーチャンネルを一括消去	16	BANKCL	—
スキップメモリーの一括消去	17	SKIPCL	—
ワンタッチメモリーモードの動作選択	24	O T M	<u>OFF</u> / ON

スマートサーチに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
スマートサーチの動作選択	19	S SCH	<u>SINGLE</u> / CONT

デュアルレシーブに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
デュアルレシーブ/プライオリティの選択	18	DW/PW	<u>DW</u> / PW

Sメーターに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
Sメーター感度の選択	08	SM SEN	<u>NORMAL</u> / LOW
SメーターブザーのON/OFF	09	SM BUZ	<u>OFF</u> / BUZZER

タイマーに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
オフタイマーの時間設定	04	OFFTIM	<u>OFF</u> / 30 min / 60 min / 90 min
バッテリーセーブ時間の切り替え	03	SAVE	<u>1 sec</u> / 3 sec / 5 sec / 7sec / 9 sec / OFF

ビープ音に関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
ビープ音のON/OFF	06	BEEP	<u>ON</u> / OFF

照明に関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
照明ランプの設定	02	LAMP	<u>AUTO</u> / ON / OFF

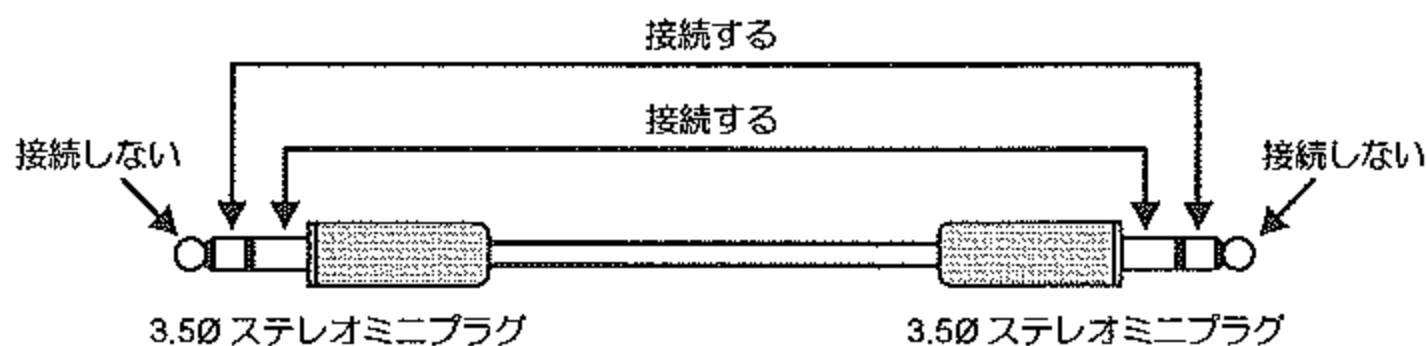
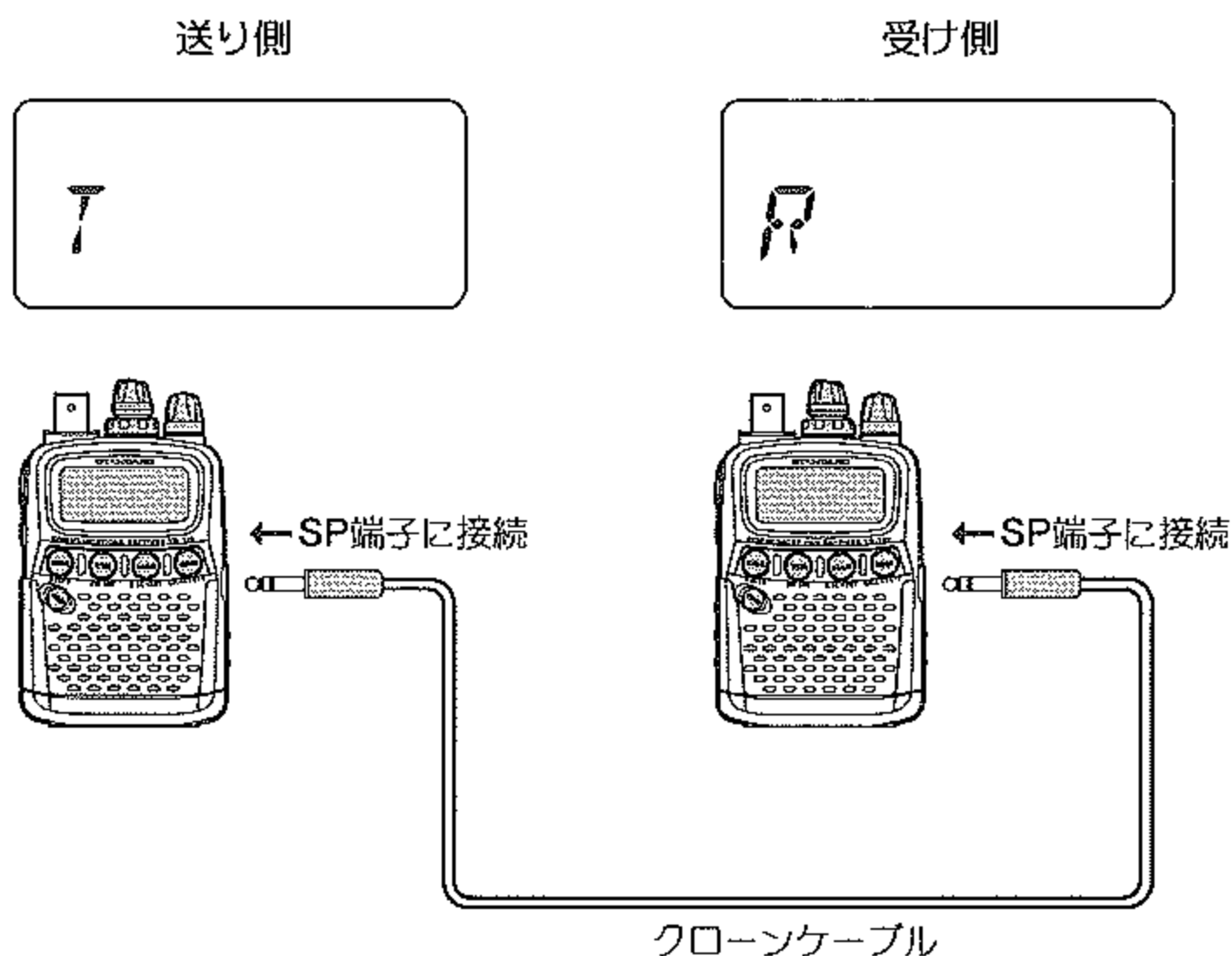
アンテナに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
AMアンテナの選択	22	AM ANT	<u>EXT</u> / BAR
FMアンテナの選択	23	FM ANT	<u>EXT</u> / EARPHO

その他の設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
周波数ステップの設定	00	STEP	<u>AUTO</u> / 5 / 6.25 / 9 / 10 / 12.5 / 15 / 20 / 25 / 30 / 50 / 100 kHz
ファーストステップの切り替え	01	F STEP	10 k / 100 k / <u>1 M</u> / 10 M / 100 MHz
現在の電圧表示	07	VOLT	—
ステップ周波数の補正	21	FLEX S	<u>ON</u> / OFF
ゲームモードの選択	25	GAME	—

※ 設定項目にある下線または [] 内の設定値は、工場出荷時の値です。

メモリー内容や各種設定内容を、他のVR-120にコピーすることができます。

1. 2台のVR-120の電源を“OFF”にし、オプションのクローンケーブル (CT-35) を SP端子に接続します。
2. 2台のVR-120を、**FUNC**、**BND**を押しながら電源を“ON”にします。
“RX TX”が表示されます。
3. 初めに受け側の**SCAN**を押します。
“R”が表示されます。
4. 次に送り側の**MODE**を押します。
“T”が表示されます。
データのコピーが開始されます。
コピーが終了すると、受け側と送り側のディスプレイに“PASS”と表示されます。
いずれかのキーを押すと、オープニングメッセージ“VR-120”が表示され、通常の状態に戻ります。
- データを転送中に**V/M**を押すとクローンを中止することができます。
- データを転送中、ディスプレイに“ERROR”や“WAR”などの警告が表示された場合は、クローンケーブルの接続などを確認して、はじめから操作をやり直してください。
5. 2台のVR-120の電源を“OFF”にし、クローンケーブルを外します。



クローンケーブル配線図

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の事項を確認してください。

● 電源が入らない

- ・乾電池が消耗していませんか？
- ・乾電池の極性を間違えずに正しくセットしてありますか？

● 周波数が変わらない

- ・ロック機能が動作していませんか？
- ・ワンタッチメモリー（OTM機能）に切り替わっていませんか？

● 音が出ない

- ・電源はONになっていませんか？
- ・VOLツマミが反時計方向にまわし切っていませんか？
- ・SQLツマミが時計方向にまわし切っていませんか？
- ・電波型式はありますか？

● ザーとノイズ音が出る

- ・SQLツマミが反時計方向にまわし切っていませんか？
- ・**MONI**を押していませんか？

● メモリーに書き込めない

- ・メモリーチャンネルが空いていませんか？
- ・プリセットモードになっていませんか？

● スキャンやスマートサーチができない

- ・SQLツマミが反時計方向にまわし切っていませんか？
- ・バンクスキャンを設定してあるとき、セットモードでバンクの指定はしましたか？

アフターサービスについて

◎ 保証期間はお買い上げの日より1ヶ年です。

本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から1年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。

◎ 保証書は大切に保管してください。

保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも、保証期間が過ぎたものとして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください。

また、販売年月日・販売店名等の必要事項が記入してない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店名・お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

◎ 保証期間が過ぎた後に故障した場合は、ご相談ください。

修理により機能が維持できる場合には有償で修理させていただきますので、お買い上げいただきました販売店またはお近くの営業所/サービスにご相談ください。

◎ 梱包箱も大切に保管してください。

修理や点検のために本製品を運搬する場合には、運搬中の事故やトラブルを防止するため、梱包箱を使用して運搬してください。

製品の改良のため、取扱説明書の図面が一部製品と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お近くの営業所/サービス宛にお願いいたします。また、その際には、必ずセットの製造番号（本体背面に貼ってある銘板に記載してあります）を併せてお知らせください。なお、お手紙をいただくときには、お客様のご住所・ご氏名を忘れずにお書きください。

オートステップ・オートモード関係表

オートステップとオートモード時の、周波数と周波数ステップ・モード（電波型式）の関係は、下表のようになります。

周波数範囲(MHz)	モード	ステップ(kHz)	周波数範囲(MHz)	モード	ステップ(kHz)
0.1000 ~ 0.2850	FM	5	162.9000 ~ 170.0000	FM	10
0.2850 ~ 0.5200	AM	5	170.0000 ~ 225.0000	WFM	50
0.5200 ~ 1.6200	AM	9	225.0000 ~ 250.4000	AM	100
1.6200 ~ 29.0000	AM	5	250.4000 ~ 253.0000	FM	12.5
29.0000 ~ 35.5300	FM	10	256.0000 ~ 262.0000	AM	100
35.5300 ~ 51.0000	AM	5	267.0000 ~ 270.0000	FM	12.5
51.0000 ~ 54.0000	FM	20	270.0000 ~ 271.0000	AM	100
54.0000 ~ 76.0000	FM	5	276.0000 ~ 281.0000	AM	100
76.0000 ~ 90.0000	WFM	100	281.0000 ~ 283.0000	FM	12.5
90.0000 ~ 108.0000	WFM	50	283.0000 ~ 336.0000	AM	100
108.0000 ~ 136.0000	AM	25	336.0000 ~ 430.0000	FM	12.5
136.0000 ~ 138.0000	FM	10	430.0000 ~ 440.0000	FM	20
138.0000 ~ 142.0000	AM	25	440.0000 ~ 459.5000	FM	12.5
142.0000 ~ 148.0000	FM	20	459.5000 ~ 464.8000	WFM	25
148.0000 ~ 156.0000	FM	10	464.8000 ~ 470.0000	FM	12.5
156.0000 ~ 157.4500	FM	25	470.0000 ~ 770.0000	WFM	50
157.4500 ~ 160.6000	FM	10	770.0000 ~ 915.0000	FM	12.5
160.6000 ~ 160.9750	FM	25	961.0000 ~ 1260.0000	WFM	100
160.9750 ~ 161.5000	FM	10	1260.0000 ~ 1300.0000	FM	20
161.5000 ~ 162.9000	FM	25			

メモリーされている世界放送局の周波数一覧表(1)

『世界の放送を受信する』の項目で放送局を呼び出したときの一覧表です。

(V/M)を押してメモリーモードに選択し、DIALツマミをまわすと各放送局を呼び出すことができます。

○ メモリーを他の周波数に上書きした場合は、オールリセット操作をすると下表の状態に戻ります。

バンク 6：短波ラジオ局

メモリー チャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国	メモリー チャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国
600	6.030	AM	VOA	Voice of America	アメリカ	632	6.195	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	イギリス
601	6.160	AM	VOA	Voice of America	アメリカ	633	9.410	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	イギリス
602	9.760	AM	VOA	Voice of America	アメリカ	634	12.095	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	イギリス
603	11.930	AM	VOA	Voice of America	アメリカ	635	15.310	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	イギリス
604	-	-	-	-	-	636	-	-	-	-	-
605	5.995	AM	CANADA	Radio Canada International	カナダ	637	6.045	AM	FRANCE	Radio France International	フランス
606	7.235	AM	CANADA	Radio Canada International	カナダ	638	9.790	AM	FRANCE	Radio France International	フランス
607	9.735	AM	CANADA	Radio Canada International	カナダ	639	11.670	AM	FRANCE	Radio France International	フランス
608	11.705	AM	CANADA	Radio Canada International	カナダ	640	15.525	AM	FRANCE	Radio France International	フランス
609	-	-	-	-	-	641	-	-	-	-	-
610	-	-	-	-	-	642	6.060	AM	ITALY	Italian Radio International	イタリア
611	-	-	-	-	-	643	7.175	AM	ITALY	Italian Radio International	イタリア
612	-	-	-	-	-	644	9.515	AM	ITALY	Italian Radio International	イタリア
613	-	-	-	-	-	645	17.710	AM	ITALY	Italian Radio International	イタリア
614	-	-	-	-	-	646	-	-	-	-	-
615	-	-	-	-	-	647	-	-	-	-	-
616	9.780	AM	PORTUG	Radio Portugal	ポルトガル	648	5.985	AM	BELGIU	Radio Vlaanderen International	ベルギー
617	11.960	AM	PORTUG	Radio Portugal	ポルトガル	649	9.925	AM	BELGIU	Radio Vlaanderen International	ベルギー
618	15.555	AM	PORTUG	Radio Portugal	ポルトガル	650	11.780	AM	BELGIU	Radio Vlaanderen International	ベルギー
619	21.655	AM	PORTUG	Radio Portugal	ポルトガル	651	13.740	AM	BELGIU	Radio Vlaanderen International	ベルギー
620	-	-	-	-	-	652	-	-	-	-	-
621	7.270	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	スペイン	653	5.955	AM	NEDERL	Radio Nederland	オランダ
622	9.520	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	スペイン	654	6.020	AM	NEDERL	Radio Nederland	オランダ
623	11.920	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	スペイン	655	9.895	AM	NEDERL	Radio Nederland	オランダ
624	15.585	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	スペイン	656	11.655	AM	NEDERL	Radio Nederland	オランダ
625	-	-	-	-	-	657	-	-	-	-	-
626	-	-	-	-	-	658	6.090	AM	LUXEMB	Radio Luxembourg	ルクセンブルグ
627	-	-	-	-	-	659	-	-	-	-	-
628	-	-	-	-	-	660	-	-	-	-	-
629	-	-	-	-	-	661	-	-	-	-	-
630	-	-	-	-	-	662	-	-	-	-	-
631	-	-	-	-	-	663	-	-	-	-	-

メモリーされている世界放送局の周波数一覧表(2)

- 受信する時間帯や電波の状態が悪いときは、受信できない場合があります。
- 各放送局は下表以外にも受信できる周波数があります。詳しくは市販されている周波数帳などを参考にしてください。

バンク 7: 短波ラジオ局

メモリー チャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国	メモリー チャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国
700	3.955	AM	WELLE	Deutsche Welle	ドイツ	732	5.940	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ロシア
701	6.075	AM	WELLE	Deutsche Welle	ドイツ	733	5.920	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ロシア
702	9.545	AM	WELLE	Deutsche Welle	ドイツ	734	7.205	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ロシア
703	9.735	AM	WELLE	Deutsche Welle	ドイツ	735	12.030	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ロシア
704	-	-	-	-	-	736	-	-	-	-	-
705	3.985	AM	SWISS	Swiss Radio International	スイス	737	9.435	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	イスラエル
706	6.165	AM	SWISS	Swiss Radio International	スイス	738	11.585	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	イスラエル
707	9.885	AM	SWISS	Swiss Radio International	スイス	739	15.615	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	イスラエル
708	15.220	AM	SWISS	Swiss Radio International	スイス	740	17.545	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	イスラエル
709	-	-	-	-	-	741	-	-	-	-	-
710	9.590	AM	DENMAR	Radio Denmark	デンマーク	742	6.045	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	インド
711	9.985	AM	DENMAR	Radio Denmark	デンマーク	743	9.595	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	インド
712	13.800	AM	DENMAR	Radio Denmark	デンマーク	744	11.620	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	インド
713	15.735	AM	DENMAR	Radio Denmark	デンマーク	745	15.020	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	インド
714	-	-	-	-	-	746	-	-	-	-	-
715	-	-	-	-	-	747	-	-	-	-	-
716	7.485	AM	NORWAY	Radio Norway International	ノルウェー	748	7.190	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国
717	9.590	AM	NORWAY	Radio Norway International	ノルウェー	749	8.250	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国
718	9.985	AM	NORWAY	Radio Norway International	ノルウェー	750	9.855	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国
719	13.800	AM	NORWAY	Radio Norway International	ノルウェー	751	11.685	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国
720	-	-	-	-	-	752	5.975	AM	KOREA	Radio Korea	韓国
721	6.065	AM	SWEDEN	Radio Sweden	スウェーデン	753	7.275	AM	KOREA	Radio Korea	韓国
722	9.490	AM	SWEDEN	Radio Sweden	スウェーデン	754	9.570	AM	KOREA	Radio Korea	韓国
723	13.625	AM	SWEDEN	Radio Sweden	スウェーデン	755	13.670	AM	KOREA	Radio Korea	韓国
724	17.505	AM	SWEDEN	Radio Sweden	スウェーデン	756	6.155	AM	JAPAN	Radio Japan	日本
725	-	-	-	-	-	757	7.200	AM	JAPAN	Radio Japan	日本
726	6.120	AM	FINLAN	Radio Finland	フィンランド	758	9.750	AM	JAPAN	Radio Japan	日本
727	9.630	AM	FINLAN	Radio Finland	フィンランド	759	11.850	AM	JAPAN	Radio Japan	日本
728	11.755	AM	FINLAN	Radio Finland	フィンランド	760	5.995	AM	AUSTRA	Radio Australia	オーストラリア
729	9.795	AM	FINLAN	Radio Finland	フィンランド	761	9.580	AM	AUSTRA	Radio Australia	オーストラリア
730	-	-	-	-	-	762	9.660	AM	AUSTRA	Radio Australia	オーストラリア
731	-	-	-	-	-	763	12.080	AM	AUSTRA	Radio Australia	オーストラリア

プリセットメモリー周波数一覧表(1)

プリセットメモリーP12を呼び出したときの放送局一覧表です。

下表を参考にセットモード10により、7大都市周辺の放送局グループを選択します。

[BND▲]を2秒以上押してプリセットモードにします。**[BND▲]**を数回押してプリセットメモリーP12に選択し、DIALツマミをまわすと各放送局を呼び出すことができます。

○ メモリーを他の周波数に上書きした場合は、オールリセット操作をすると下表の状態に戻ります。

バンク 8：東日本 中波ラジオ局, FMラジオ局, テレビ放送局

プリセット チャンネル	周波数	モード	表示	放送局名	地方	プリセット チャンネル	周波数	モード	表示	放送局名	地方
800	0.567	AM	NHK-1	NHK第1札幌	北海道	832	0.594	AM	NHK-1	NHK第1東京	関東
801	0.747	AM	NHK-2	NHK第2札幌	北海道	833	0.693	AM	NHK-2	NHK第2東京	関東
802	1.287	AM	HBC	北海道放送	北海道	834	0.810	AM	AFN	AFN東京	関東
803	1.440	AM	STV	STVラジオ	北海道	835	0.954	AM	TBS	TBS	関東
804	80.400	WFM	AIR-G	FM北海道	北海道	836	1.134	AM	BUNKA	文化放送	関東
805	82.500	WFM	NR-WAV	FMノースウェーブ	北海道	837	1.242	AM	NIPPON	ニッポン放送	関東
806	85.200	WFM	NHK-SP	NHK-FM札幌	北海道	838	1.422	AM	RF-NPN	RFラジオ日本	関東
807	95.750	WFM	TV-1CH	北海道放送	北海道	839	76.100	WFM	INT-FM	Inter FM	関東
808	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合	北海道	840	76.400	WFM	R-BERY	FM栃木	関東
809	181.750	WFM	TV-5CH	STV	北海道	841	77.100	WFM	FM-UNV	放送大学	関東
810	221.750	WFM	TV12CH	NHK教育	北海道	842	78.000	WFM	BAY-FM	BAY FM	関東
811	499.750	WFM	TV17CH	テレビ北海道	北海道	843	78.600	WFM	FM-FUJ	FM富士	関東
812	559.750	WFM	TV27CH	北海道文化放送	北海道	844	79.500	WFM	NACK-5	NACK-5	関東
813	607.750	WFM	TV35CH	北海道テレビ放送	北海道	845	80.000	WFM	TYO-FM	TOKYO FM	関東
814	-	-	-	-	-	846	80.700	WFM	NHK-CB	NHK-FM千葉	関東
815	-	-	-	-	-	847	81.300	WFM	J-WAVE	J-WAVE	関東
816	0.891	AM	NHK-1	NHK第1仙台	東北	848	81.900	WFM	NHK-YK	NHK-FM横浜	関東
817	1.089	AM	NHK-2	NHK第2仙台	東北	849	82.500	WFM	NHK-TY	NHK-FM東京	関東
818	1.260	AM	TBC	東北放送	東北	850	84.700	WFM	FM-YKH	FMヨコハマ	関東
819	77.100	WFM	DAT-FM	FM仙台	東北	851	85.100	WFM	NHK-UW	NHK-FM浦和	関東
820	82.500	WFM	NHK-SD	NHK-FM仙台	東北	852	86.300	WFM	FM-GNM	FMぐんま	関東
821	95.750	WFM	TV-1CH	東北放送	東北	853	95.750	WFM	TV-1CH	NHK総合	関東
822	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合	東北	854	107.750	WFM	TV-3CH	NHK教育	関東
823	181.750	WFM	TV-5CH	NHK教育	東北	855	175.750	WFM	TV-4CH	日本テレビ	関東
824	221.750	WFM	TV12CH	仙台放送	東北	856	187.750	WFM	TV-6CH	TBS	関東
825	589.750	WFM	TV32CH	東日本放送	東北	857	197.750	WFM	TV-8CH	フジテレビ	関東
826	601.750	WFM	TV34CH	宮城テレビ放送	東北	858	209.750	WFM	TV10CH	テレビ朝日	関東
827	-	-	-	-	-	859	221.750	WFM	TV12CH	テレビ東京	関東
828	-	-	-	-	-	860	481.750	WFM	TV14CH	MX-TV	関東
829	-	-	-	-	-	861	493.750	WFM	TV16CH	放送大学	関東
830	-	-	-	-	-	862	649.750	WFM	TV42CH	TVK	関東
831	-	-	-	-	-	863	-	-	-	-	-

プリセットメモリー周波数一覧表(2)

バンク 9 : 西日本 中波ラジオ局, FMラジオ局, テレビ放送局

周波数	モード	表示	放送局名	地方	周波数	モード	表示	放送局名	地方
900	AM	NHK-1	NHK第1名古屋	東海	932	AM	AM-KOB	ラジオ関西	関西
901	AM	NHK-2	NHK第2名古屋	東海	933	AM	NHK-1	NHK第1大阪	関西
902	AM	CBC	CBC	東海	934	AM	NHK-2	NHK第2大阪	関西
903	AM	TOKAI	東海ラジオ放送	東海	935	AM	ABC	朝日放送	関西
904	AM	GIFU	岐阜ラジオ	東海	936	AM	KBS	京都放送	関西
905	WFM	ZIP-FM	FM名古屋	東海	937	AM	MBS	毎日放送	関西
906	WFM	FM-MIE	FM三重	東海	938	AM	OBC	大阪放送	関西
907	WFM	FMA	FM愛知	東海	939	WFM	FM-802	FM802	関西
908	WFM	NHK-NY	NHK-FM名古屋	東海	940	WFM	NHK-KT	NHK-FM京都	関西
909	WFM	TV-1CH	東海テレビ	東海	941	WFM	FM-OSK	FM大阪	関西
910	WFM	TV-3CH	NHK総合	東海	942	WFM	NHK-KB	NHK-FM神戸	関西
911	WFM	TV-5CH	中部日本放送	東海	943	WFM	NHK-OS	NHK-FM大阪	関西
912	WFM	TV-9CH	NHK教育	東海	944	WFM	A-STN	エフエム京都	関西
913	WFM	TV11CH	名古屋テレビ	東海	945	WFM	KIS-FM	兵庫FMラジオ放送	関西
914	WFM	TV25CH	テレビ愛知	東海	946	WFM	TV-2CH	NHK総合	関西
915	WFM	TV35CH	中京テレビ	東海	947	WFM	TV-4CH	毎日放送	関西
916	AM	NHK-1	NHK第1福岡	九州	948	WFM	TV-6CH	朝日放送	関西
917	AM	NHK-2	NHK第2福岡	九州	949	WFM	TV-8CH	関西テレビ	関西
918	AM	RKB	RKB毎日放送	九州	950	WFM	TV10CH	読売テレビ	関西
919	AM	KBC	九州朝日放送	九州	951	WFM	TV12CH	NHK教育	関西
920	WFM	CRS-FM	FM九州	九州	952	WFM	TV19CH	テレビ大阪	関西
921	WFM	FM-FOK	FM福岡	九州	953	AM	NHK-2	NHK第2広島	中国
922	WFM	NHK-FK	NHK-FM福岡	九州	954	AM	NHK-1	NHK第1広島	中国
923	WFM	TV-1CH	九州朝日放送	九州	955	AM	RCC	中国放送	中国
924	WFM	TV-3CH	NHK総合	九州	956	WFM	HFM	広島FM放送	中国
925	WFM	TV-4CH	RKB毎日放送	九州	957	WFM	NHK-HR	NHK-FM広島	中国
926	WFM	TV-6CH	NHK教育	九州	958	WFM	TV-3CH	NHK総合	中国
927	WFM	TV-9CH	テレビ西日本	九州	959	WFM	TV-4CH	中国放送	中国
928	WFM	TV19CH	TXN九州	九州	960	WFM	TV-7CH	NHK教育	中国
929	WFM	TV37CH	福岡放送	九州	961	WFM	TV12CH	広島テレビ	中国
930	-	-	-	-	962	WFM	TV31CH	テレビ新広島	中国
931	-	-	-	-	963	WFM	TV35CH	広島ホームテレビ	中国

キー操作早見表

キー	単独で押す	FUNC を押しながら押す
MONI	押している間だけスケルチをOFF	ロック機能のON/OFF
BND▲	バンド切り替え(上方向) プリセットchの上方向切り替え ワンタッチメモリー0 (OTM時)	バンドの切り替え(下方向) プリセットchの下方向切り替え
V/M	VFO, メモリーモードの切り替え CLR (クリア) キーとして動作 ワンタッチメモリー1 (OTM時)	メモリーの書き込み (VFOモード) スキップメモリーの書き込み (VFOモード) メモリーの消去 (メモリーモード) スキップメモリーの消去 (メモリーモード)
SCAN	サーチ, スキャンの実行 ワンタッチメモリー2 (OTM時)	セットモードの呼び出し(VFOモード) メモリーに名称を付ける (メモリーモード)
MODE	モードの切り替え メモリー名称・周波数の切り替え (メモリーモード) ワンタッチメモリー3 (OTM時)	アッテネーターのON/OFF

キー	単独で2秒以上押す	FUNC を押しながら2秒以上押す
MONI	-----	-----
BND▲	通常モード, プリセットモードの切り替え	プリセットメモリーの書き込み
V/M	デュアルレシーブ・プライオリティワッチ の実行	デュアルレシーブ・プライオリティワッチ 周波数の設定
SCAN	スマートサーチの実行 (VFOモード) PMSメモリーの書き込み (メモリーモード) PMSメモリーの実行 (スキャン中)	サーチ上下限周波数の書き込み スマートサーチ上下限周波数の書き込み
MODE	チャンネルカウンタの実行	盗聴器発見機能サーチの実行 (VFOモード)

受信周波数範囲	: 100 kHz～1299.995 MHz (一部の周波数帯を除く)		
電波型式	: AM / FM / WFM		
受信方式	: トリプルスーパーヘテロダイン		
メモリーチャンネル数	: 640チャンネル		
バンク数	: 10バンク (1バンク: 64チャンネル)		
アンテナインピーダンス	: 50 Ω		
アンテナ端子	: BNC		
中間周波数	: 248.45 MHz, 15 MHz, 450 kHz		
受信感度	100 kHz～5 MHz	AM	3.5 dBμ (1.5 μV)
	5 MHz～160 MHz	AM	-4.4 dBμ (0.6 μV)
		FM	-10.4 dBμ (0.3 μV)
		WFM	-1.0 dBμ (0.9 μV)
	160 MHz～370 MHz	AM	-4.4 dBμ (0.6 μV)
		FM	-10.4 dBμ (0.3 μV)
		WFM	-4.4 dBμ (0.6 μV)
	370 MHz～520 MHz	FM	-10.4 dBμ (0.3 μV)
		WFM	0 dBμ (1.0 μV)
	520 MHz～1300 MHz	FM	-3.0 dBμ (0.7 μV)
		WFM	9.5 dBμ (3.0 μV)
選択度	: WFM: 200 kHz 以上 / -6 dB AM / FM: 16 kHz 以上 / -6 dB		
アンテナ不要輻射	: -54 dBm以下		
電源電圧	: 定格 3.0 V		
動作可能電源電圧	: DC 2.2 V～3.5 V		
消費電流	受信時	約95 mA (オーディオ出力50 mW, 8 Ω)	
	待ち受け時	約15 mA (1:4/バッテリーセーブオン)	
	待ち受け時	約55 mA (バッテリーセーブオフ)	
使用可能時間 (目安)	: 約20時間 (1/2定格出力時, アルカリ乾電池)		
動作温度範囲	: -10 °C ~ +50 °C		
低周波出力	: 約80 mW (8 Ω)		
外形寸法	: 85 mm(H)×59 mm(W)×26 mm(D) (突起物を含まず)		
本体重量	: 約195 g (乾電池, アンテナを含む)		

測定法はJAIAで定めた測定法によります。定格値は常温・常圧時の値です。
本機の外觀および定格は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

下記の周波数は受信することができません。

253MHz ~ 256MHz	412MHz ~ 416MHz	898MHz ~ 901MHz
262MHz ~ 267MHz	810MHz ~ 835MHz	915MHz ~ 961MHz
271MHz ~ 276MHz	843MHz ~ 846MHz	
380MHz ~ 383MHz	860MHz ~ 890MHz	

索引

A

ALLRST (オールリセット)	13
AMアンテナの選択	13
ATT機能 (アッテネーター機能)	28

B

BND▲ (バンド) キー	8
---------------	---

C

CH CNT (チャンネルカウンタ)	22
--------------------	----

D

DIALツマミ	8
DIALツマミのステップ幅を変える	28
DW (デュアルレシーブ)	26

F

FMアンテナの選択	13
FUNCスイッチ	8

L

LOCK機能	28
--------	----

M

MODEキー	8
MONIスイッチ	8
MW	16

O

OFFタイマー機能	30
OTM機能	23

P

PMS (プリファレンシャルメモリスキャン)	19
P.SET (プリセットモード)	15
PW (プライオリティワッチ)	25
PWRスイッチ	8

S

SCAN (スキャン)	18
SEARCH (サーチ)	10
SET (セットモード)	31
SP端子 (スピーカー端子)	8
SQLツマミ	8
S SCH (スマートサーチ)	24
STEP (ステップ)	28
SYSRST (システムリセット)	13
Sメーター感度の選択	33
Sメーターの振れをブザー音にする	30

V

VFOモード	9
V/Mキー	8
VOLツマミ	8

あ

アッテネーター機能 (ATT)	28
アフターサービスについて	38
安全上のご注意	3
アンテナの選択	13
アンテナを取り付ける	6

お

オートステップ	9
オートモード	9
オートモード・オートステップ関係表	39
オールリセット	13
オフタイマー機能	30
オプション	5

か

各部の名前と働き	8
乾電池を入れる	7
乾電池を長く持たせる	29
簡単操作の受信機として使う	15

き

キー操作早見表	44
希望のメモリーチャンネルだけを スキャンする	19

く

クローン機能	37
--------	----

け

ゲーム	30
-----	----

こ

故障かな?と思ったら	38
------------	----

さ

サーチ (SEARCH)	10
サーチしたくない周波数をスキップする	12
サーチしたくない周波数を設定する	12
サーチの再開する条件	10
サーチバンドメモリー	11
サーチバンドメモリーの周波数確認	33

し

システムリセット	13
指定したメモリーバンク内にある メモリーチャンネルだけをスキャンする	20
自動的に電源をOFFにする	30
周波数サーチ	10
周波数サーチの動作切り替え	33
周波数ステップを変更する	28
周波数などが変わらないようにする	28
周波数をあわせる	9
周波数範囲を指定してサーチする	11
受信感度を下げる	28

受信できる全ての周波数をサーチする	10
受信バンドをあわせる	9
受信するモード（電波型式）をあわせる	9
受信前の準備	6
照明ランプが自動的に点灯しないようにする	29
照明ランプの設定	32
使用時間の目安	7
信号を受信していないときのノイズを消す	8
信号を受信する	9

す

スキップメモリー	12
スキップメモリーの一括消去	34
スキップメモリーを消す	12
スキャンストップ時間の設定	32
スキャンの再開する条件	10
ステップ (STEP)	28
ステップ周波数の補正	35
ステップ変更	28
スピーカー端子 (SP端子)	8
全てのメモリーチャンネルをスキャンする	18
スマートサーチ (S SCH)	24
スマートサーチの動作選択	34
スロットマシンゲームをする	30

せ

世界の放送を受信する	14
セットモード (SET)	31
セットモードの機能別一覧表	36
セットモードの項目一覧表	31
セットモードの動作一覧表	32

そ

操作音を鳴らないようにする	29
---------------------	----

た

タイムサーチ	10
タイムスキャン	10

ち

チャンネルカウンタ (CH CNT)	22
チャンネルカウンタサーチ幅の選択	34

て

定格	45
ディスプレイの説明	8
デュアルレシーブ (DW)	26
電圧表示	32

と

盗聴器発見機能サーチ	21
------------------	----

は

バッテリーセーブ機能	29
ハンドストラップを取り付ける	6

バンド (BND)	9
-----------------	---

ひ

ビジーサーチ	10
ビジースキャン	10
ビープ音のON/OFF	29

ふ

ファーストステップ機能	9
付属品	5
2つの周波数を交互に受信する	26
プライオリティタッチ (PW)	25
プリセット周波数を呼び出す	15
プリセットメモリー (P 12) の内容選択	33
プリセットメモリー周波数一覧表	42
プリセットモード (P.SET)	15
プリセットモードの呼び出し	15
プリファレンシャルメモリースキャン (PMS)	19

へ

ベルトクリップを取り付ける	6
---------------------	---

ほ

ホールドサーチ	10
ホールドスキャン	10

め

メモリーされている世界放送局の周波数一覧表	40
メモリースキャン	18
メモリースキャンの動作選択	33
メモリー操作	16
メモリーチャンネルに書き込む	16
メモリーチャンネルに名前をつける	17
メモリーチャンネルの内容を消す	17
メモリーチャンネルを呼び出す	16
メモリーの編集	17
メモリーバンク	16
メモリーバンクスキャン	20
メモリーバンクスキャンのバンク指定	34
メモリーバンク内の メモリーチャンネルを一括消去	34
メモリーモード	16
メモリーを使う	16

も

モード (MODE)	9
------------------	---

り

リセットのしかた	13
----------------	----

ろ

ロック機能	28
-------------	----

わ

ワンタッチメモリー	23
-----------------	----



製造元・株式会社バーテックススタンダード
〒153-8644 東京都目黒区中目黒4-8-8



©2000 株式会社バーテックススタンダード
禁無断転載・複写